

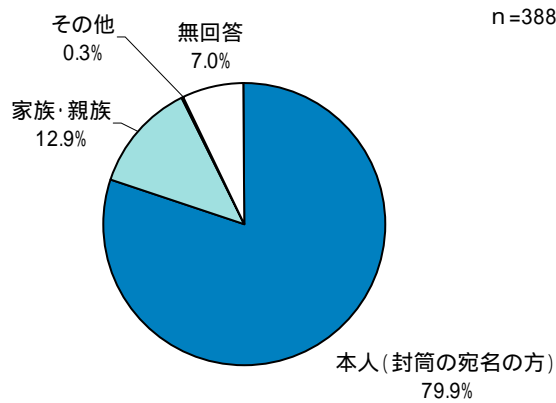
第3章 在宅要支援認定者調査

1. あなたのことについて

(1) 調査記入者

F 1 この調査に回答される方を教えてください。(1つに)

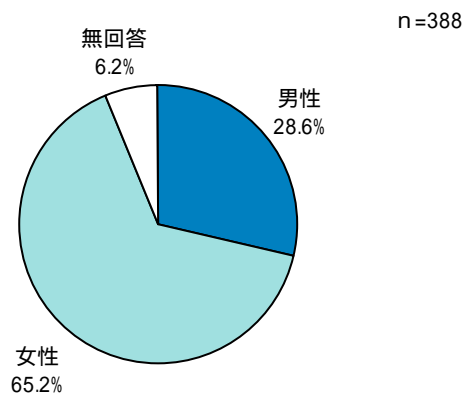
調査票記入者は、「本人」79.9%、「家族・親族」12.9%、「その他」0.3%である。



(2) 性別

F 2 あなたの性別は。(1つに)

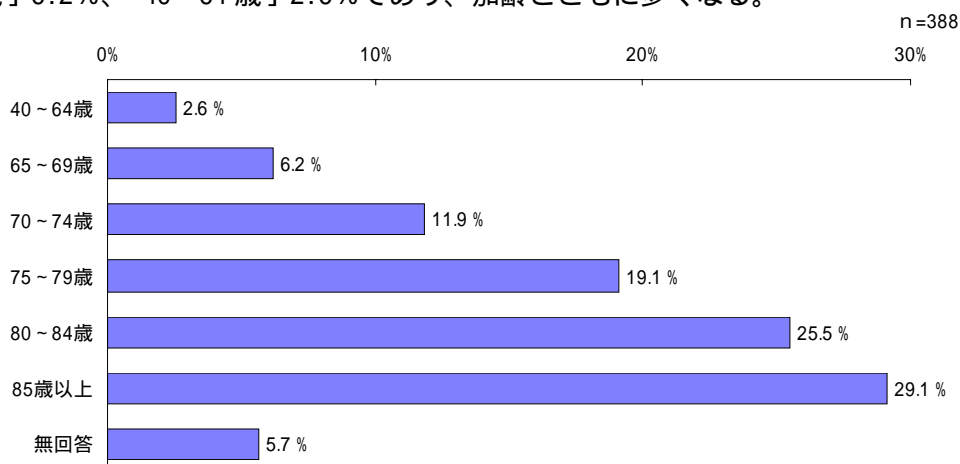
性別は、「女性」65.2%、「男性」28.6%である。



(3) 年齢

F3 あなたの年齢は。(1つに)

年齢は「85歳以上」29.1%、「80～84歳」25.5%、「75～79歳」19.1%、「70～74歳」11.9%、「65～69歳」6.2%、「40～64歳」2.6%であり、加齢とともに多くなる。



[性別]

70歳代は男性が、80歳以上は女性が上回る。

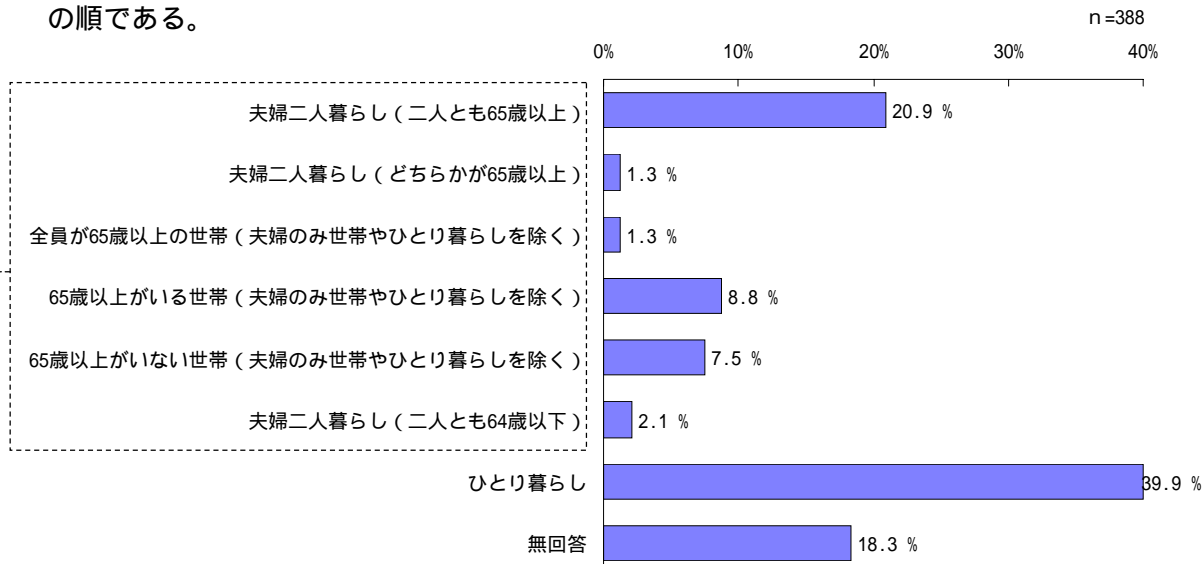
単位：%

		回答者数 (人)	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
全体		388	2.6	6.2	11.9	19.1	25.5	29.1	5.7
性別	男性	111	3.6	6.3	16.2	22.5	22.5	27.9	0.9
	女性	253	2.4	6.3	11.1	19.4	28.1	32.4	0.4

(4) 同居家族

F4 あなたが同居しているご家族は。(1つに)

同居の家族は、「ひとり暮らし」が39.9%と最も多く、「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」20.9%と合わせると約6割に達する。以下、「65歳以上がいる世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」8.8%、「65歳以上がいない世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)」7.5%などの順である。



[年齢]

「ひとり暮らし」は75～79歳が最も多く59.5%、6割である。次いで70～74歳45.7%、85歳以上38.9%、80～84歳37.4%などである。

「夫婦二人暮らし(二人とも65歳以上)」は、70～74歳が37.0%、65～69歳29.2%、80～84歳26.3%などの順である。

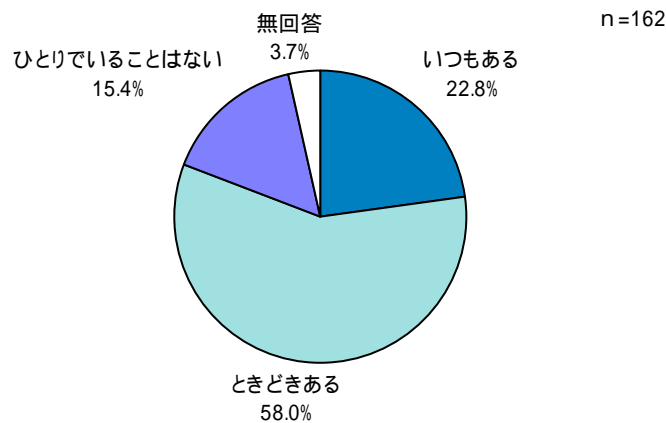
単位：%

	回答者数 (人)	夫婦二人 暮らし (二人とも 65歳以上)	夫婦二人 暮らし (どちらかが 65歳以上)	全員が65歳 以上の世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いる世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	65歳以上が いない世帯 (夫婦のみ世帯 やひとり暮らし を除く)	夫婦二人 暮らし (二人とも 64歳以下)	ひとり 暮らし	無回答	
全 体	388	20.9	1.3	1.3	8.8	7.5	2.1	39.9	18.3	
年 齢	40～64歳	10	10.0	0.0	0.0	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0
	65～69歳	24	29.2	8.3	8.3	16.7	8.3	0.0	25.0	4.2
	70～74歳	46	37.0	2.2	0.0	10.9	2.2	0.0	45.7	2.2
	75～79歳	74	20.3	0.0	1.4	1.4	8.1	1.4	59.5	8.1
	80～84歳	99	26.3	0.0	0.0	9.1	5.1	3.0	37.4	19.2
	85歳以上	113	12.4	1.8	1.8	12.4	9.7	2.7	38.9	20.4

(5) 日中の独居

F 4 - 1 あなたは、昼間ひとりであることがありますか。(1つに)

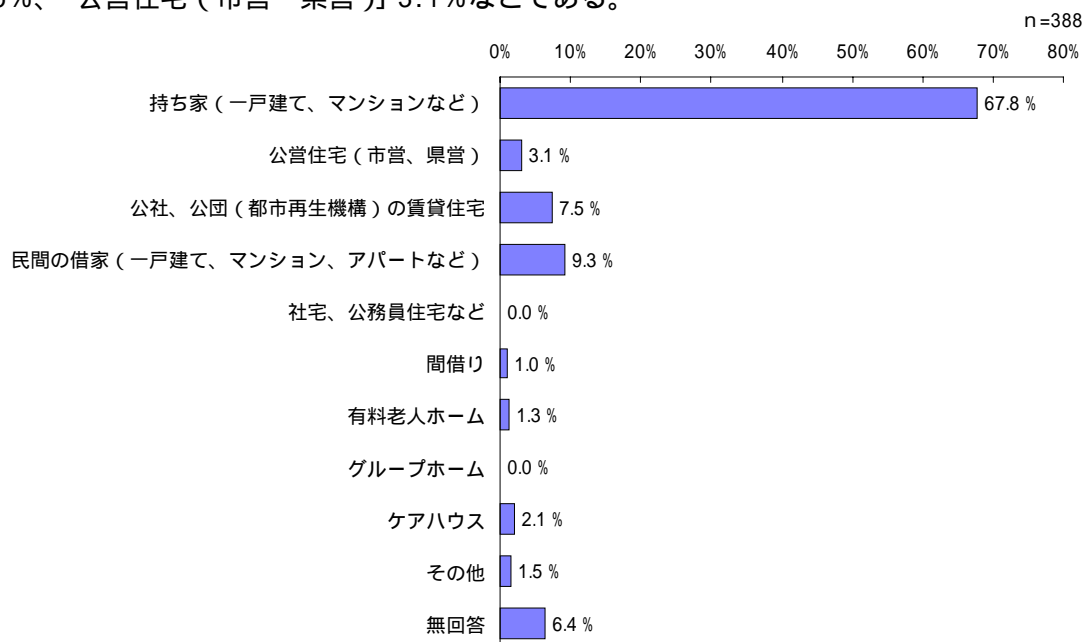
昼間ひとりであることに対し、「ときどきある」58.0%、「いつもある」22.8%、「ひとりであることはない」15.4%である。



(6) 住まい

F 5 お住まいは次のどれですか。(1つに)

住まいは「持ち家(一戸建て、マンションなど)」が67.8%、約7割を占める。次いで「民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)」9.3%、「公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅」7.5%、「公営住宅(市営・県営)」3.1%などである。

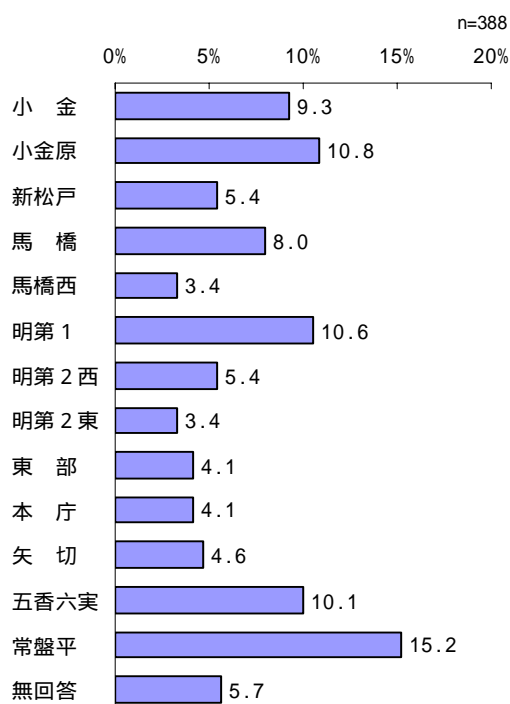
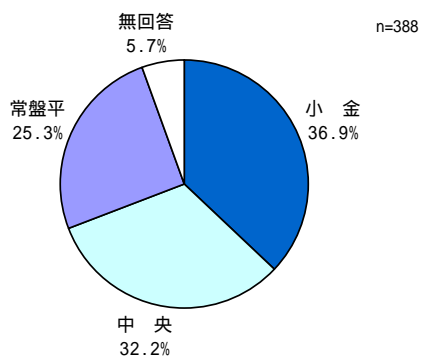


(7) 居住地区

F 6 あなたの住所は、どちらですか。(1つに)

13の日常生活圏域でみると、最も多いのが「常盤平」の15.2%、次いで「小金原」の10.8%、「明第1」の10.6%、「五香六実」の10.1%、「小金」の9.3%などである。

3つの地域包括支援センター管轄でみると「小金」36.9%、「中央」32.0%、「常盤平」25.3%となっている。

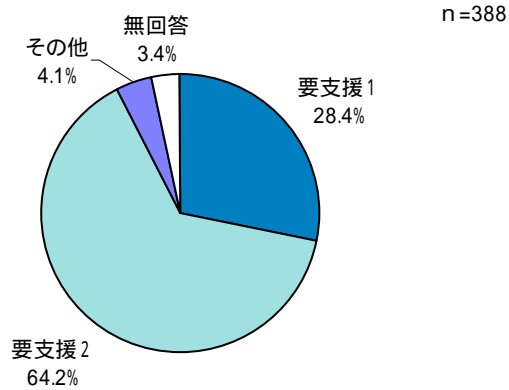


2. 日常の生活状況等について

(1) 要介護状態区分

問1 あなたの要介護状態区分は。(1つに)

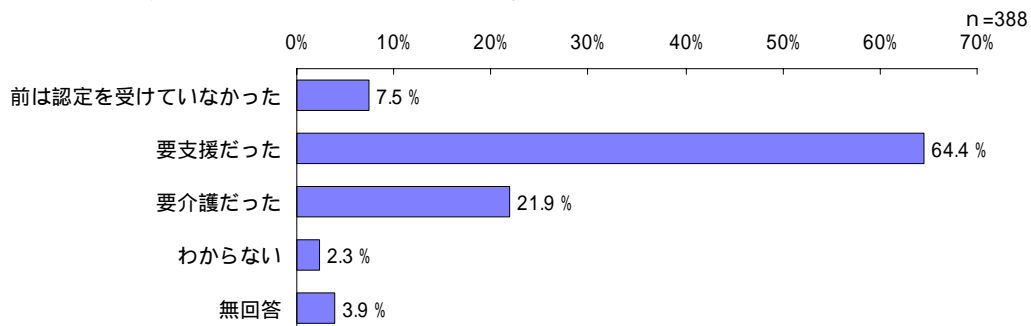
「要支援2」が64.2%、「要支援1」が28.4%、「その他」4.1%である。



(2) 前回の認定時の状態

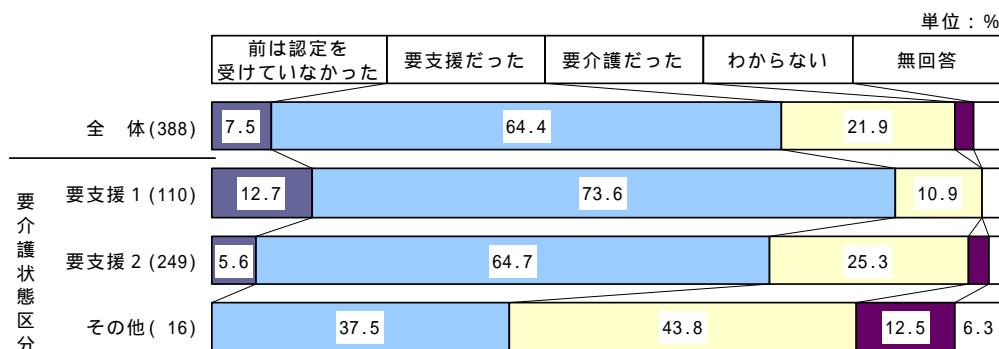
問2 前回の要介護・要支援認定の状態はどうでしたか。(1つに)

「要支援だった」が64.4%と最も多く、次いで「要介護だった」21.9%、「前は認定を受けていなかった」7.5%、「わからない」2.3%である。



[要介護状態区分]

要支援1及び要支援2とも、「要支援だった」が最も多く、各73.6%、64.7%である。「要介護だった」は要支援2の25.3%、要支援1の10.9%である。



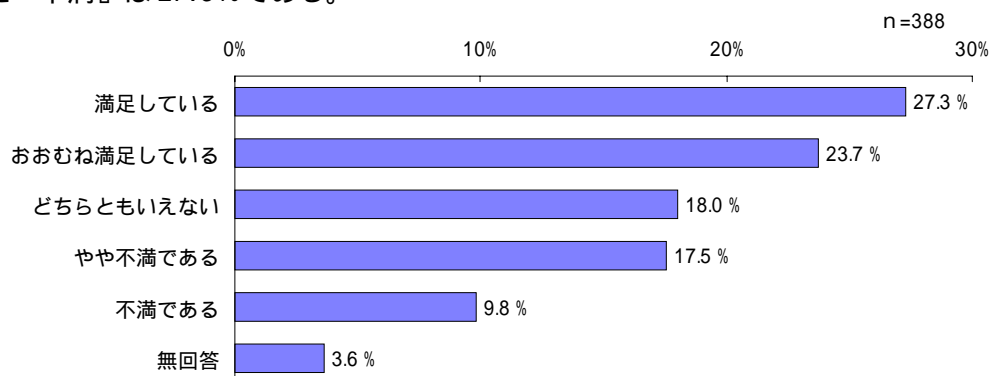
注：5%未満の数値は表記していない

()は回答者数

(3) 認定結果の満足度

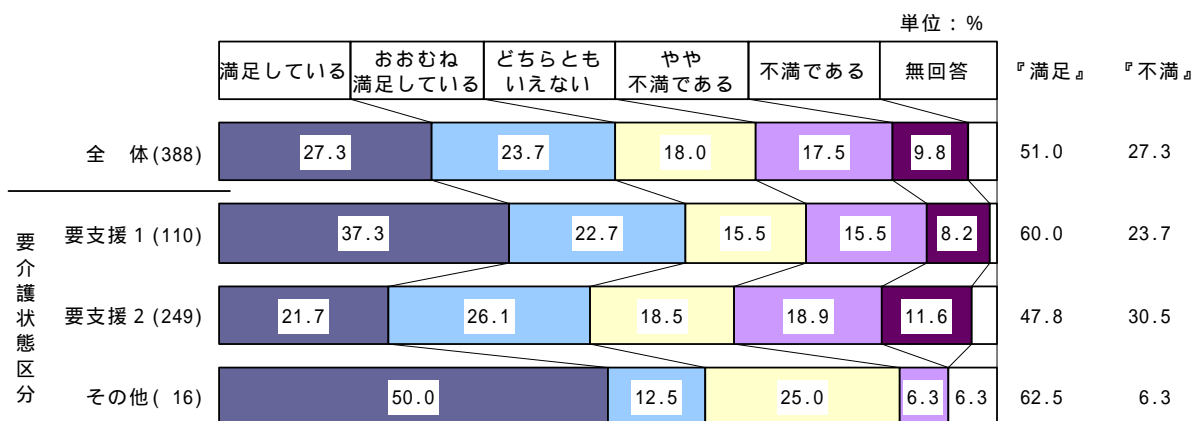
問3 あなたは、今回の認定結果に満足していますか。(1つに)

今回の認定結果に「満足している」27.3%、「おおむね満足している」23.7%、これらを合わせた『満足』は51.0%である。これに対し、「やや不満である」17.5%、「不満である」9.8%を合わせた『不満』は27.3%である。



[要介護状態区分]

『満足』は要支援1の60.0%が要支援2の47.8%を上回る。逆に『不満』は要支援1が23.7%に対し、要支援2は30.5%である。

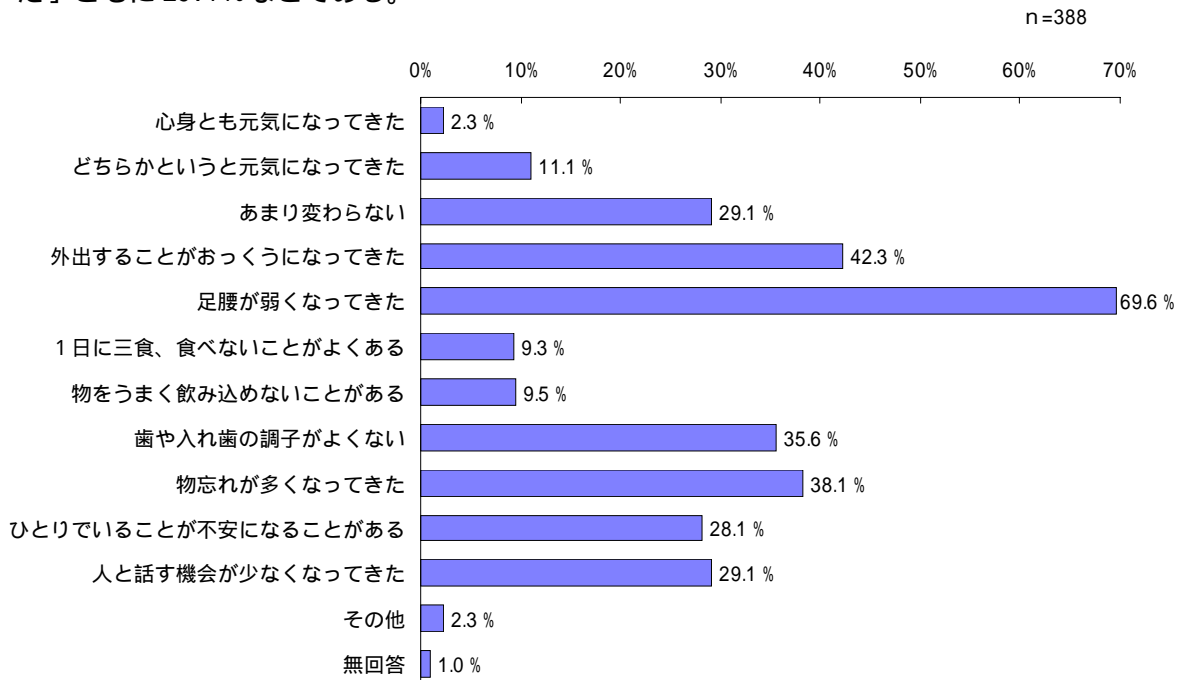


注: 5%未満の数値は表記していない
()は回答者数

(4) ここ1年くらいの状態

問4 あなたは、ここ1年くらいの心身や日常生活の変化はありますか。(あてはまるものすべてに)

ここ1年くらいの状態の変化は、「足腰が弱くなってきた」が69.6%と多くの方があげている。以下、「外出することがおっくうになってきた」42.3%、「物忘れが多くなってきた」38.1%、「歯や入れ歯の調子がよくない」35.6%、「あまり変わらない」及び「人と話す機会が少なくなってきた」ともに29.1%などである。



[要介護状態区分]

要支援1及び要支援2とも「足腰が弱くなってきた」を各69.1%、69.9%と同じ程度に、最も多くあげている。要支援2が要支援1を大きく上回るものとして、「外出することがおっくうになってきた」の各46.2%、34.5%、逆に要支援1が要支援2を大きく上回るものとして、「物忘れが多くなってきた」の各44.5%、35.7%をあげることができる。

単位：%

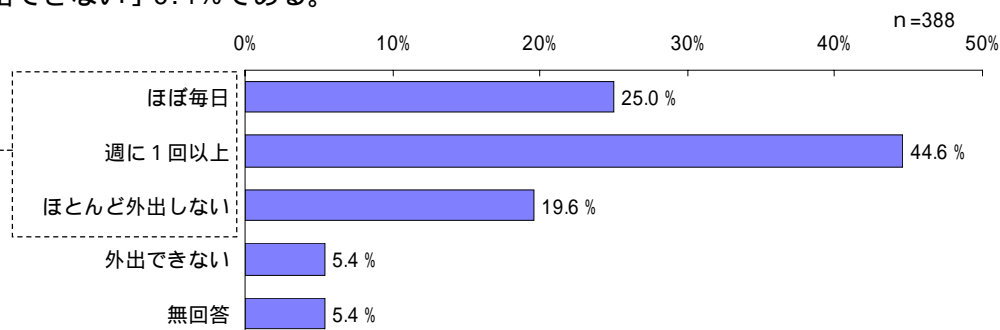
		回答者数 (人)	心身とも 元気に なってきた	どちらか という 元気に なってきた	あまり 変わらない	外出する ことが おっくうに なってきた	足腰が弱く なってきた	1日に三食、 食べない ことが よくある	物をうまく 飲み込め ないこと がある
全 体		388	2.3	11.1	29.1	42.3	69.6	9.3	9.5
状態 区分	要支援1	110	0.9	11.8	28.2	34.5	69.1	11.8	7.3
	要支援2	249	3.2	12.0	27.3	46.2	69.9	8.4	10.4
	その他	16	0.0	0.0	56.3	37.5	68.8	6.3	12.5

		回答者数 (人)	歯や入れ歯 の調子が よくない	物忘れが 多くなっ てきた	ひとり である ことが 不安に なる こと がある	人と話す 機会が 少なく なっ てきた	その他	無回答
全 体		388	35.6	38.1	28.1	29.1	2.3	1.0
状態 区分	要支援1	110	35.5	44.5	28.2	26.4	2.7	0.0
	要支援2	249	35.3	35.7	28.1	30.1	2.0	0.8
	その他	16	37.5	43.8	25.0	37.5	0.0	0.0

(5) 外出の頻度

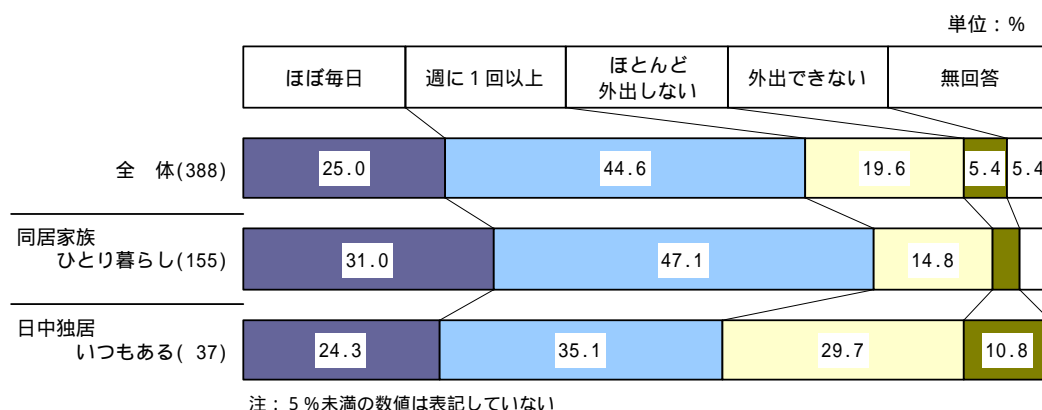
問5 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに)

日ごろの外出は「週に1回以上」44.6%、「ほぼ毎日」25.0%、「ほとんど外出しない」19.6%、「外出できない」5.4%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

「ほぼ毎日」の外出は、ひとり暮らしが31.0%と他の家族構成を上回り、逆に「ほとんど外出しない」は日中いつもひとりであることが多い人の29.7%である。



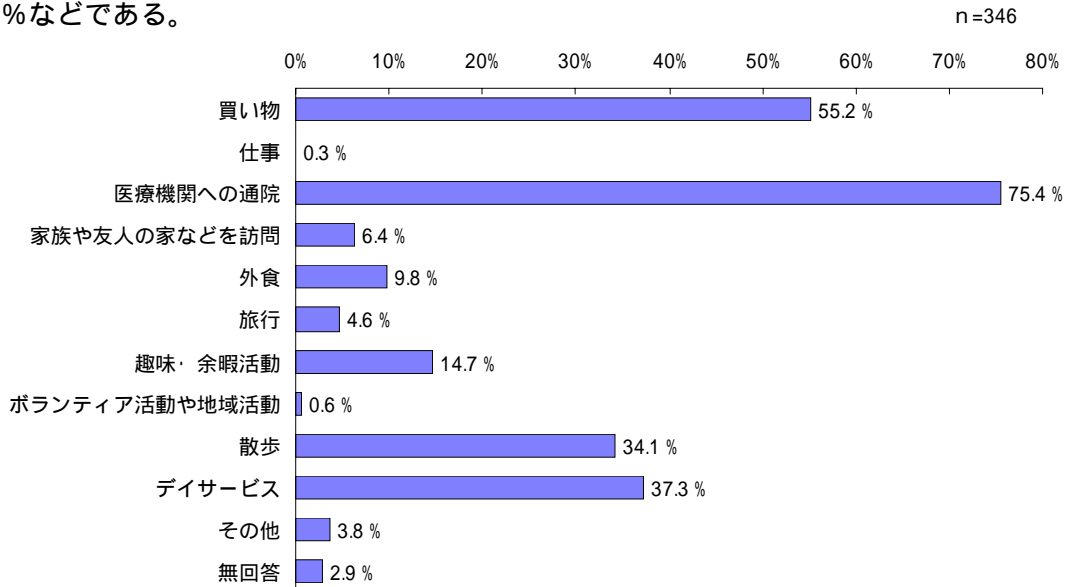
[要介護状態区分]

「ほぼ毎日」の外出は、要支援1の35.5%が要支援2の22.9%を上回る。逆に「ほとんど外出しない」は要支援2の23.3%が要支援1の9.1%を上回る。

(6) 外出の目的

問5-1 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の目的は「医療機関への通院」75.4%、「買い物」55.2%、「デイサービス」37.3%、「散歩」34.1%などである。



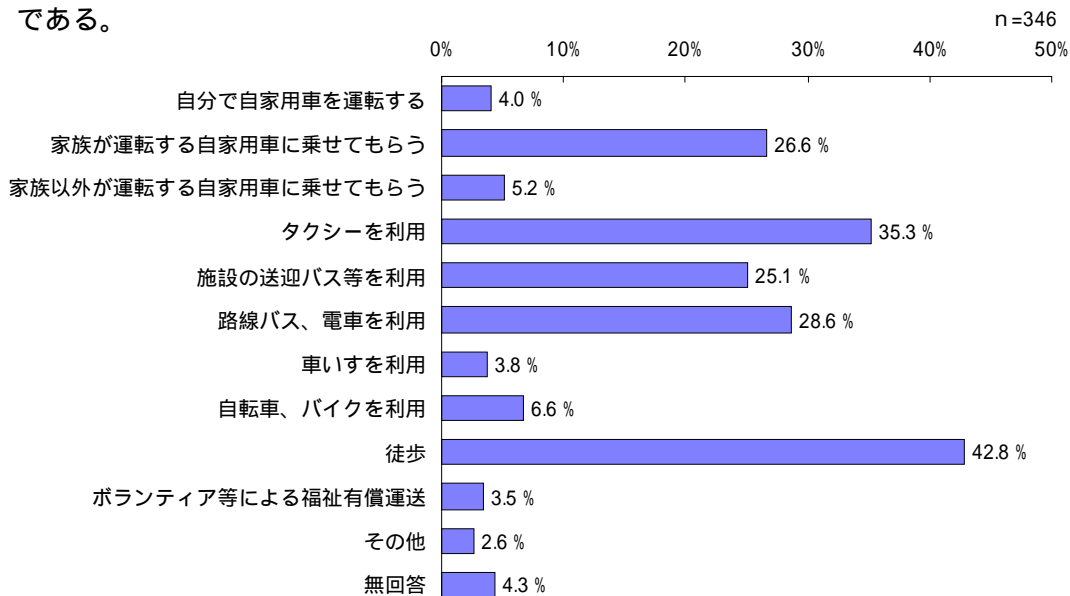
[ひとり暮らし・日中独居]

「買い物」はひとり暮らしが70.8%と他の家族構成を上回る。また、いつもひとりであることの多い人の「買い物」は51.5%であり、ひとりがときどきある人の43.4%、ひとりであることはない人の40.9%を上回る。

(7) 外出の方法

問5-2 日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに)

外出の方法は「徒歩」42.8%、「タクシーを利用」35.3%、「路線バス、電車を利用」28.6%、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」26.6%、「施設の送迎バス等を利用」25.1%が主なところである。



[同居家族]

「徒歩」は全員が65歳以上の世帯(夫婦のみ世帯やひとり暮らしを除く)が最も多く66.7%、次いでひとり暮らし52.8%、夫婦二人暮らし(二人とも64歳以下)50.0%などである。

単位：%

	回答者数 (人)	自分で自 家用車を 運転する	家族が 運転する 自家用車 に乗せて もらう	家族以外 が運転す る自家用 車に乗せ てもらう	タクシーを 利用	施設の 送迎バス 等を利用	路線バス、 電車を 利用	車いすを 利用	自転車、 バイクを 利用	徒歩	ボランティ ア等による 福祉有償 運送	その他	無回答	
全 体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
同居家族	夫婦二人暮らし (二人とも65歳以上)	71	4.2	33.8	5.6	46.5	25.4	23.9	4.2	4.2	33.8	7.0	4.2	1.4
	夫婦二人暮らし (どちらかが65歳以上)	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	3	0.0	66.7	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	65歳以上がいる世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	30	3.3	40.0	3.3	33.3	30.0	20.0	3.3	6.7	40.0	0.0	0.0	6.7
	65歳以上がいない世帯 (夫婦のみ世帯や ひとり暮らしを除く)	27	7.4	37.0	3.7	29.6	51.9	18.5	3.7	3.7	40.7	0.0	7.4	0.0
	夫婦二人暮らし (二人とも64歳以下)	8	0.0	50.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	50.0	0.0	0.0	12.5
	ひとり暮らし	144	4.2	18.1	4.9	36.8	19.4	36.1	3.5	8.3	52.8	1.4	2.1	4.9

[日中独居]

日中ひとりであることの多い人は「タクシーを利用」及び「徒歩」がいずれも45.5%と最も多い。日中ひとりであることがときどきある人は「徒歩」39.8%「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」38.6%「タクシーを利用」37.3%と上位はあまり差がない。また、日中ひとりであることがない人は「タクシーを利用」45.5%「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」40.9%と続くが、「徒歩」は13.6%にすぎない。家族の世話が手厚いためと考えられる。

単位：%

	回答者数 (人)	自分で自 家用車を 運転する	家族が 運転する 自家用車 に乗せて もらう	家族以外 が運転す る自家用 車に乗せ てもらう	タクシーを 利用	施設の 送迎バス 等を利用	路線バス、 電車を 利用	車いすを 利用	自転車、 バイクを 利用	徒歩	ボランティ ア等による 福祉有償 運送	その他	無回答	
全 体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
日中独居	いつもある	33	3.0	33.3	6.1	45.5	30.3	18.2	0.0	3.0	45.5	6.1	9.1	3.0
	ときどきある	83	3.6	38.6	4.8	37.3	32.5	27.7	3.6	4.8	39.8	2.4	2.4	2.4
	ひとりであることは ない	22	4.5	40.9	4.5	45.5	27.3	4.5	9.1	9.1	13.6	9.1	0.0	9.1

[居住地区]

13地区のうち、重複1位を含め、「徒歩」を1位としたのが9地区、「タクシーを利用」が4地区、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」及び「路線バス、電車を利用」各1地区である。「路線バス、電車を利用」は、本庁地区では64.3%であるが、馬橋地区ではわずか16.0%であり、地区による差は大きい。

単位：%

	回答者数 (人)	自分で自家用車を運転する	家族が運転する自家用車に乗せてもらう	家族以外が運転する自家用車に乗せてもらう	タクシーを利用	施設の送迎バス等を利用	路線バス、電車を利用	車いすを利用	自転車、バイクを利用	徒歩	ボランティア等による福祉有償運送	その他	無回答	
全体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
居住地区	小金	31	6.5	38.7	0.0	41.9	32.3	29.0	0.0	9.7	41.9	0.0	0.0	3.2
	小金原	40	7.5	32.5	12.5	30.0	12.5	37.5	0.0	0.0	45.0	5.0	2.5	7.5
	新松戸	20	10.0	30.0	5.0	30.0	20.0	25.0	0.0	10.0	50.0	5.0	0.0	0.0
	馬橋	25	4.0	32.0	12.0	44.0	40.0	16.0	8.0	4.0	20.0	0.0	4.0	4.0
	馬橋西	13	7.7	38.5	0.0	30.8	23.1	23.1	0.0	15.4	38.5	0.0	0.0	7.7
	明第1	37	0.0	29.7	0.0	27.0	27.0	18.9	2.7	10.8	45.9	2.7	2.7	8.1
	明第2西	17	0.0	23.5	0.0	29.4	17.6	17.6	5.9	5.9	52.9	5.9	0.0	5.9
	明第2東	13	0.0	23.1	15.4	23.1	15.4	38.5	7.7	0.0	69.2	7.7	0.0	0.0
	東部	13	7.7	23.1	0.0	38.5	23.1	23.1	15.4	0.0	23.1	0.0	7.7	7.7
	本庁	14	0.0	21.4	14.3	35.7	57.1	64.3	0.0	0.0	42.9	14.3	7.1	7.1
	矢切	16	0.0	18.8	6.3	50.0	12.5	37.5	6.3	0.0	31.3	12.5	0.0	0.0
	五香六実	35	8.6	25.7	8.6	25.7	31.4	20.0	5.7	5.7	48.6	2.9	5.7	0.0
	常盤平	53	1.9	18.9	0.0	37.7	20.8	26.4	3.8	11.3	47.2	1.9	1.9	3.8

丸数字は順位

[要介護状態区分]

要支援1、要支援2とも「徒歩」を1位としているが、要支援1の55.3%に対し、要支援2は38.9%にとどまる。要支援1は「路線バス、電車を利用」を2位にあげているが、要支援2では、2位に「タクシーを利用」、3位に「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」となっている。

単位：%

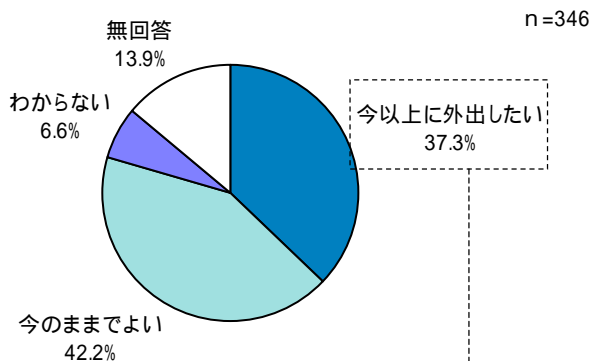
	回答者数 (人)	自分で自家用車を運転する	家族が運転する自家用車に乗せてもらう	家族以外が運転する自家用車に乗せてもらう	タクシーを利用	施設の送迎バス等を利用	路線バス、電車を利用	車いすを利用	自転車、バイクを利用	徒歩	ボランティア等による福祉有償運送	その他	無回答	
全体	346	4.0	26.6	5.2	35.3	25.1	28.6	3.8	6.6	42.8	3.5	2.6	4.3	
状態区分	要支援1	103	6.8	19.4	5.8	33.0	23.3	38.8	2.9	11.7	55.3	3.9	1.0	2.9
	要支援2	221	3.2	29.4	4.5	37.1	25.3	23.1	4.5	4.5	38.9	3.6	3.6	5.4
	その他	13	0.0	23.1	15.4	38.5	38.5	38.5	0.0	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0

丸数字は順位

(8) 今以上に外出したいか

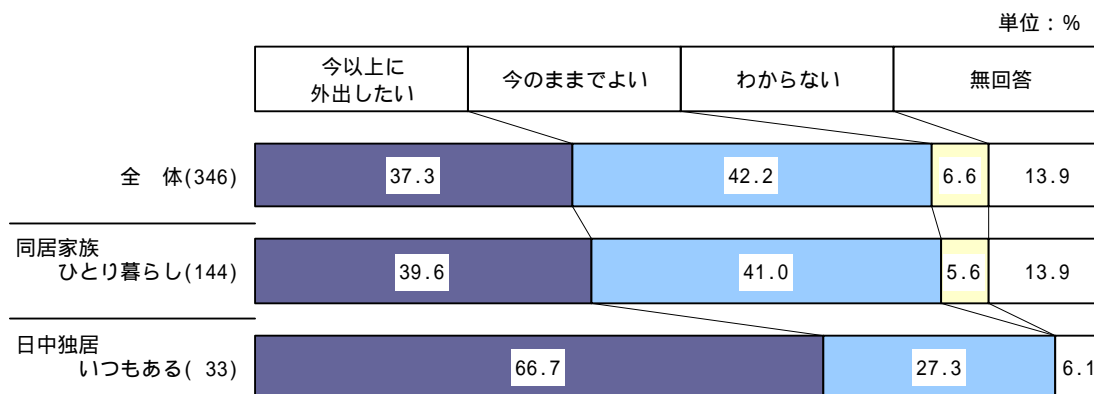
問5-3 今以上に外出したいですか。(1つに)

問5で外出が可能な人に、今以上に外出したいかを聞いた。「今のままでよい」42.2%、「今以上に外出したい」は37.3%にとどまり、「わからない」が6.6%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは全体結果とほぼ同じであるのに対し、いつもひとりであることの多い人は3分の2が「今以上に外出したい」としている。



注：5%未満の数値は表記していない

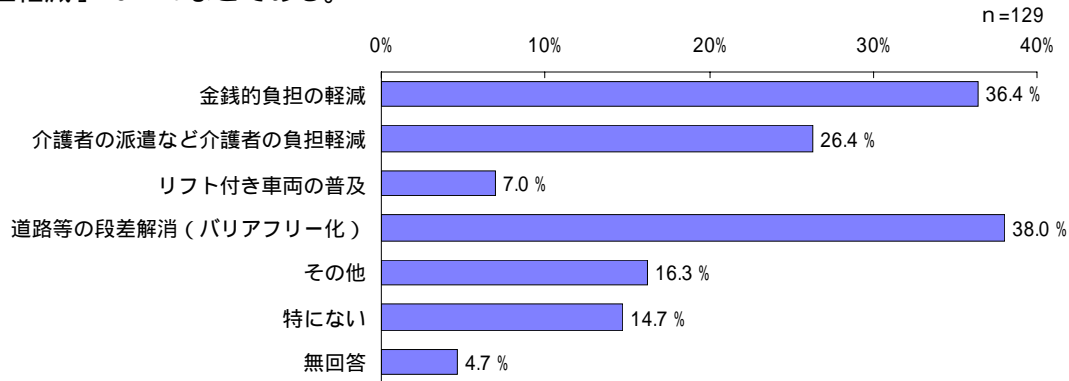
[要介護状態区分]

「今のままでよい」は要支援1の47.6%が要支援2の40.7%を上回る。逆に「今以上に外出したい」は要支援2の38.5%が、要支援1の33.0%を上回る。

(9) 外出のために必要な援助

問5-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに)

問5-3で「今以上に外出したい」と答えた人に、どのような援助が必要かを聞いた。「道路等の段差解消(バリアフリー化)」38.0%、「金銭的負担の軽減」36.4%、「介護者の派遣など介護者の負担軽減」26.4%などである。



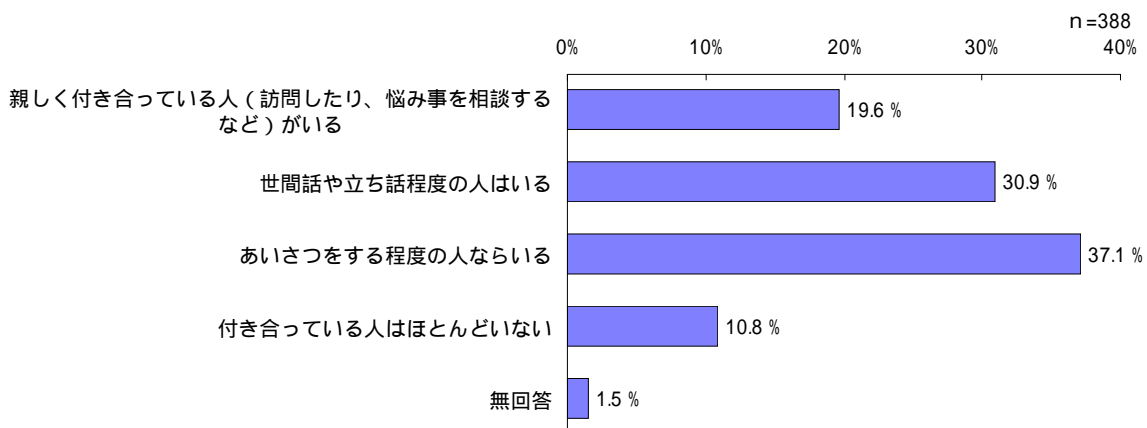
[ひとり暮らし・日中独居]

日中いつもひとりであることの多い人では、「金銭的負担の軽減」50.0%「介護者の派遣など介護者の負担軽減」40.9%がとくに多くなっている。ひとり暮らしでは、とくに多い回答はみられない。

(10) 隣近所との付き合い

問6 あなたは、日ごろ隣近所の方と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに)

隣近所との付き合いは、「あいさつをする程度の人ならいる」37.1%、「世間話や立ち話程度の人はいる」30.9%、以下やや少なくなり、「親しく付き合っている人(訪問したり、悩み事を相談するなど)がいる」19.6%「付き合っている人はほとんどいない」10.8%である。

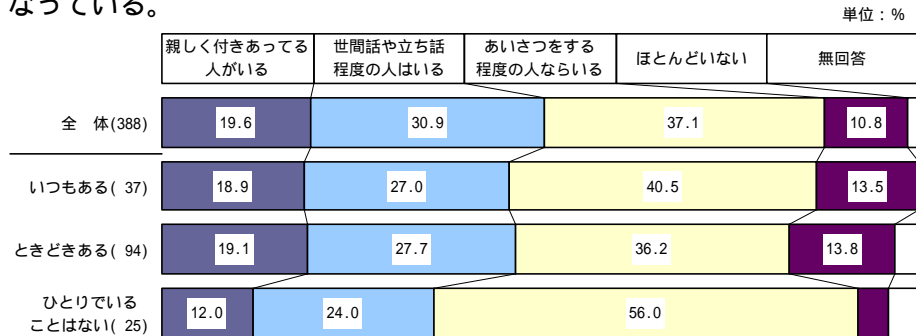


[ひとり暮らし]

ひとり暮らしは「あいさつをする程度の人ならいる」35.5%「世間話や立ち話程度の人はいる」32.9%「親しく付き合っている人がいる」23.2%「ほとんどいない」10.3%である。

[日中独居]

日中いつも、あるいは、ときどきひとりである人は「ほとんどいない」が各13.5%、13.8%とやや多くなっている。



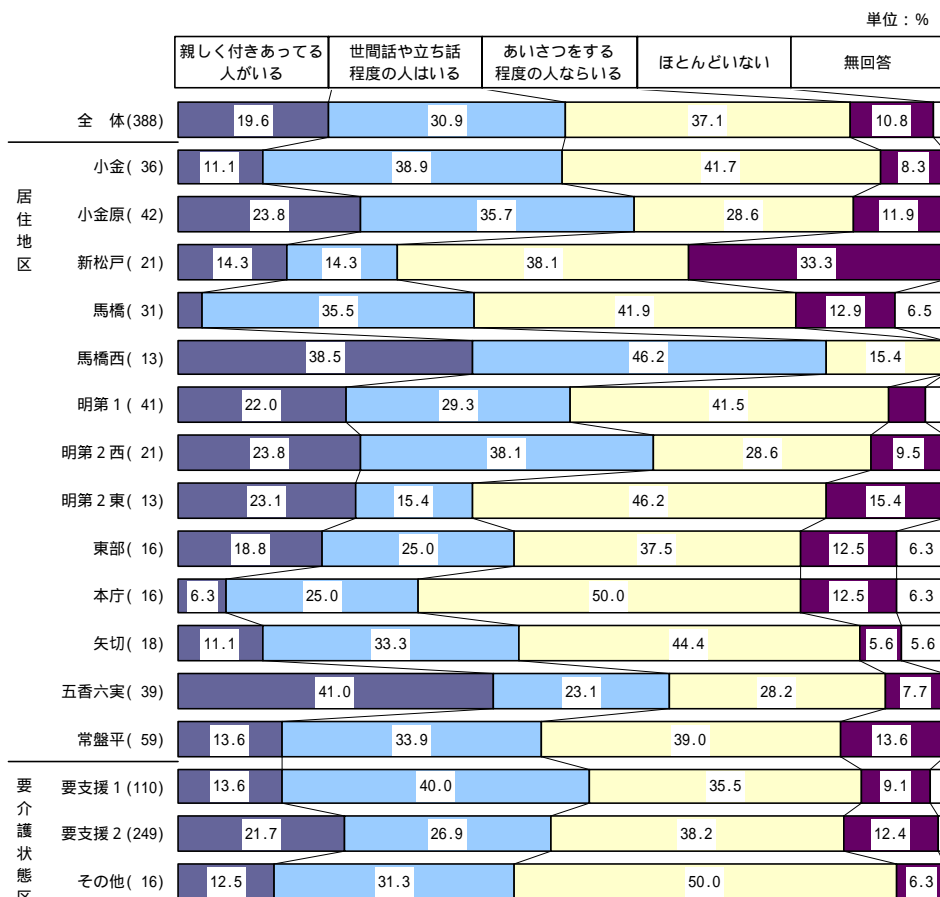
注：5%未満の数値は記入していない

[居住地区]

最も多いのは、「あいさつをする程度の人ならいる」は9地区、「世間話や立ち話程度の人はいる」は3地区、「親しく付き合っている人がいる」は1地区、五香六実地区である。

[要介護状態区分]

「あいさつをする程度の人ならいる」は要支援2の38.2%が要支援1の35.5%をやや上回るが、逆に、「世間話や立ち話程度の人はいる」は要支援1の40.0%が要支援2の26.9%を大きく上回る。また、「親しく付き合っている人がいる」は要支援2の21.7%に対し、要支援1は13.6%である。

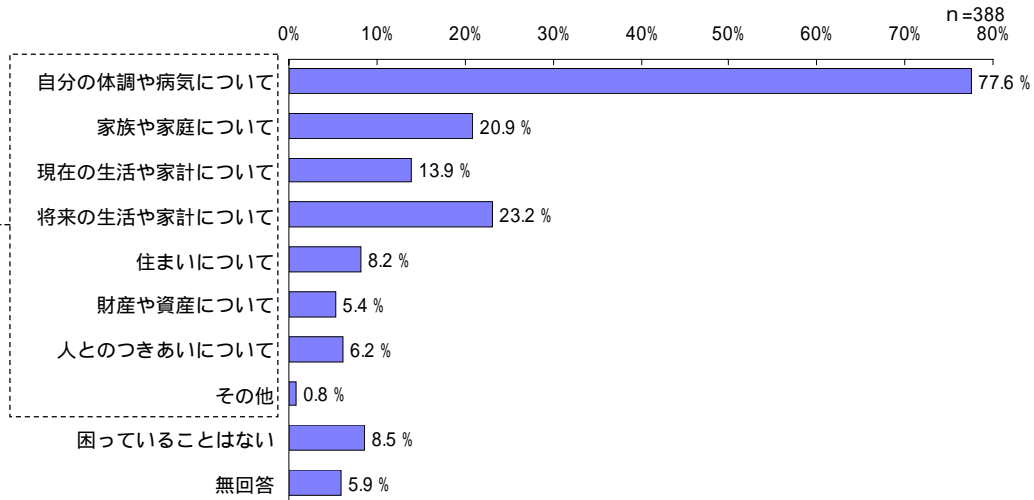


注：5%未満の数値は記入していない

(11) 不安・心配の内容

問7 次にあげた項目のうち、不安になったり心配になったりすることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)

「自分の体調や病気について」77.6%と、8割近い人があげている。以下、「将来の生活や家計について」23.2%、「家族や家庭について」20.9%、「現在の生活や家計について」13.9%などである。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中いつもひとりであることの多い人は、「自分の体調や病気について」各80.0%、78.4%、「将来の生活や家計について」が各29.0%、29.7%と全体を上回る。

また、いつもひとりであることの多い人は「家族や家庭について」が37.8%とひとり暮らしの11.0%を大きく上回る。

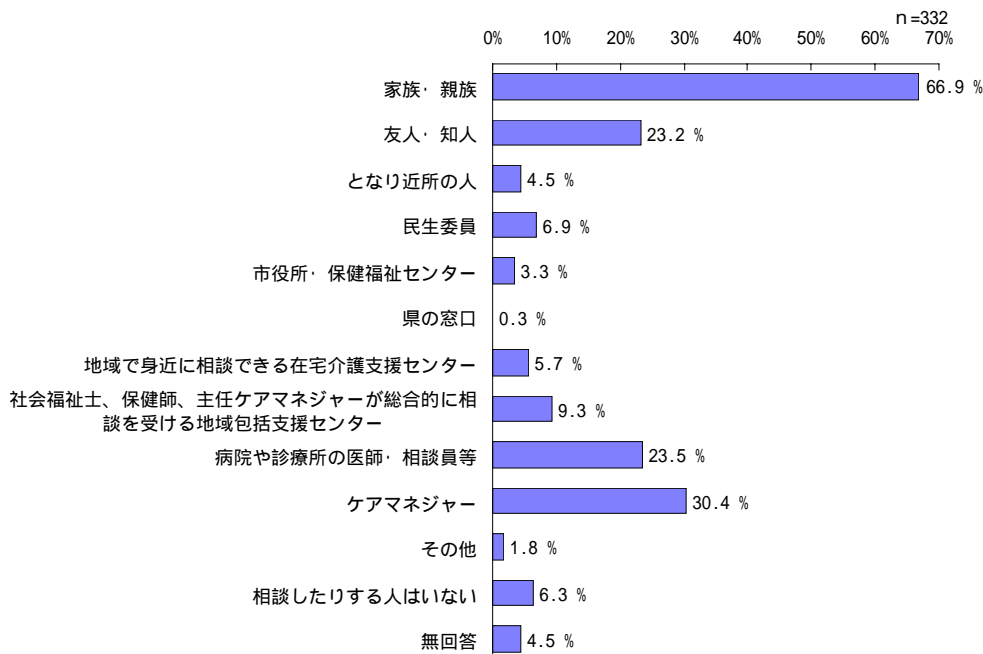
単位：%

	回答者数 (人)	自分の体調や病気について	家族や家庭について	現在の生活や家計について	将来の生活や家計について	住まいについて	財産や資産について	人とのつきあいについて	その他	困っていることはない	無回答
全 体	388	77.6	20.9	13.9	23.2	8.2	5.4	6.2	0.8	8.5	5.9
家同居 ひとり暮らし	155	80.0	11.0	15.5	29.0	12.3	3.9	5.2	1.3	9.0	2.6
日中 独居	37	78.4	37.8	18.9	29.7	0.0	16.2	13.5	0.0	5.4	2.7

(12) 不安・心配の相談相手

問7-1 その心配事や悩みについて、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに)

相談相手で最も多いのは「家族・親族」66.9%、次いで「ケアマネジャー」30.4%、「病院や診療所の医師・相談員等」23.5%、「友人・知人」23.2%などである。



[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らし及び日中ひとりであることの多い人、いずれも「家族・親族」が各59.9%、64.7%と最も多い。「病院や診療所の医師・相談員等」については、日中ひとりであることがときどきある人の32.1%に対し、日中いつもひとりであることの多い人は17.6%にとどまっている。

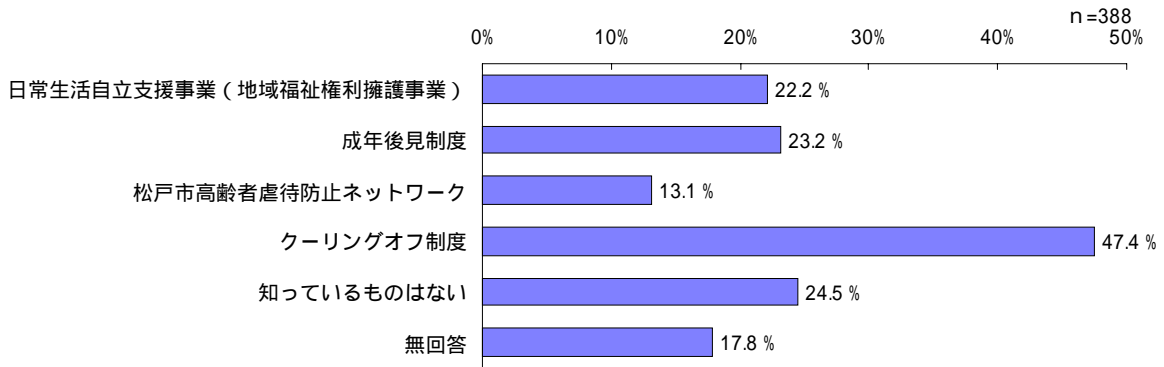
		単位：%							
		回答者数 (人)	家族・親族	友人・知人	となり近所の人	民生委員	市役所・保健福祉センター	県の窓口	地域で身近に相談できる在宅介護支援センター
全 体		332	66.9	23.2	4.5	6.9	3.3	0.3	5.7
家 同 族 居	ひとり暮らし	137	59.9	28.5	5.1	11.7	5.8	0.7	10.2
	日中独居								
日 中 独 居	いつもある	34	64.7	29.4	5.9	2.9	5.9	0.0	2.9
	ときどきある	78	85.9	15.4	5.1	2.6	0.0	0.0	3.8
	ひとりであることはない	20	65.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		回答者数 (人)	社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーが総合的に相談を受ける地域包括支援センター	病院や診療所の医師・相談員等	ケアマネジャー	その他	相談したりする人はいない	無回答
全 体		332	9.3	23.5	30.4	1.8	6.3	4.5
家 同 族 居	ひとり暮らし	137	12.4	24.8	30.7	2.9	6.6	4.4
	日中独居							
日 中 独 居	いつもある	34	14.7	17.6	38.2	2.9	11.8	0.0
	ときどきある	78	9.0	32.1	25.6	0.0	2.6	2.6
	ひとりであることはない	20	0.0	20.0	20.0	5.0	10.0	5.0

(13) 権利擁護等の制度や仕組み

問8 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護等の制度や仕組みを知っていますか。(知っているものすべてに)

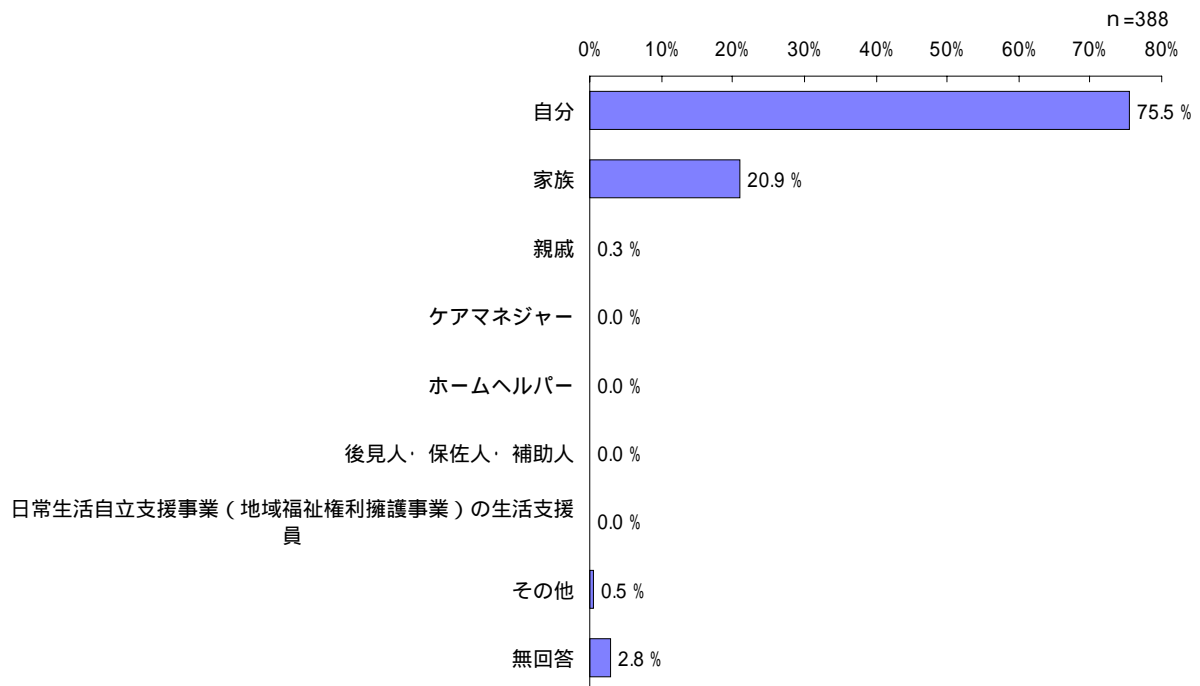
「クーリングオフ制度」は47.4%と半数近い人があげている。「知っているものはない」24.5%、「成年後見制度」23.2%、「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」22.2%が同程度である。



(14) 日常の金銭管理

問9 あなたの日常生活に関わる金銭管理は誰が行っていますか。(1つに)

日常生活に関わる金銭管理は、「自分」が75.5%、「家族」20.9%、「親戚」0.3%である。

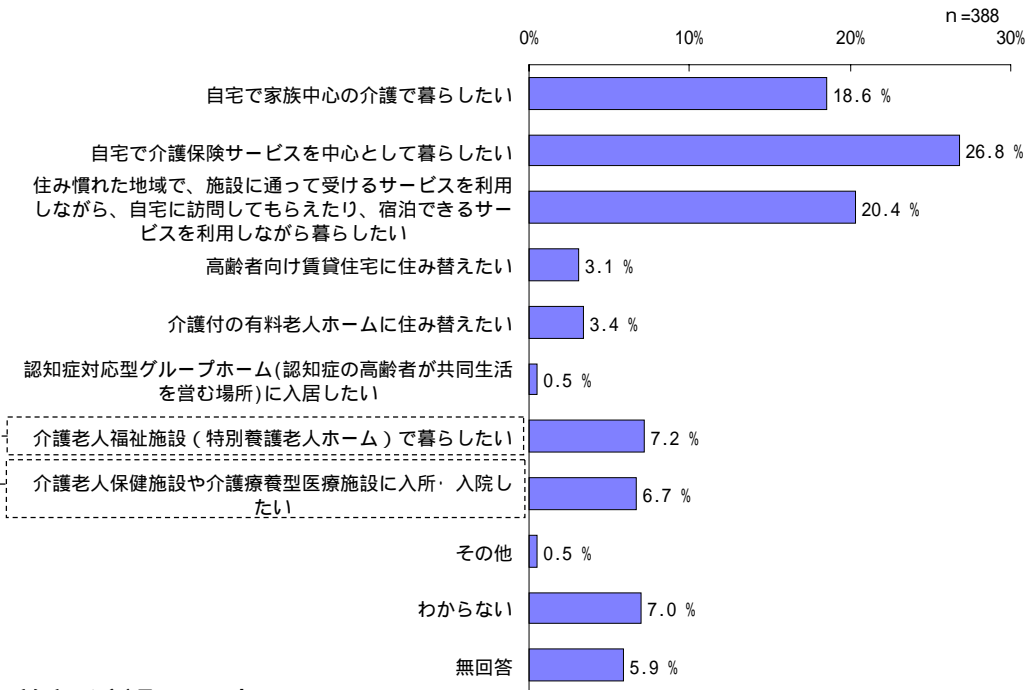


3. 今後の生活について

(1) どのように暮らしたいのか

問 10 あなたは今後の生活について、どのようにお考えですか (1つに)

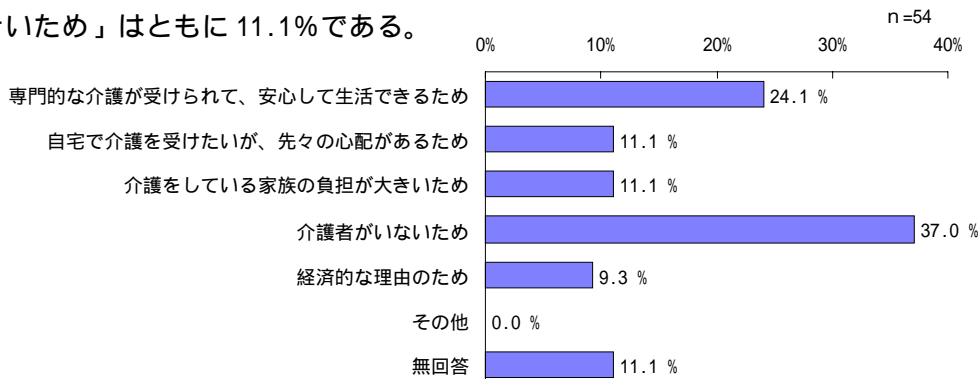
「自宅で介護保険サービスを中心として暮らしたい」26.8%、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」20.4%、「自宅で家族中心の介護で暮らしたい」18.6%が主なところである。



(2) 施設希望の理由

問 10- 1 施設等を希望される(ご自宅での生活を希望しない)最も大きな理由は何ですか。(1つに)

問 10 で「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)で暮らしたい」及び「介護老人保健施設や介護療養型医療施設に入所・入院したい」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「介護者がいないため」37.0%、次いで「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため」24.1%であり、「自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため」及び「介護をしている家族の負担が大きいため」はともに 11.1%である。



[要介護状態区分]

「介護者がいないため」は要支援1が52.9%、要支援2が26.5%と大きな差がある。「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるため」は、要支援2の26.5%が要支援1の17.6%を上回る。

単位：%

	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きいため	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答
全 体	54	24.1	11.1	11.1	37.0	9.3	0.0	11.1
要 介 護 状 態 区 分	要支援1	17	17.6	11.8	11.8	52.9	5.9	0.0
	要支援2	34	26.5	8.8	11.8	26.5	11.8	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

[ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは、「介護者がいないため」が46.2%であるのに対し、いつもひとりであることのない人は、「自宅で介護を受けたいが、先々の心配があるため」42.9%である。

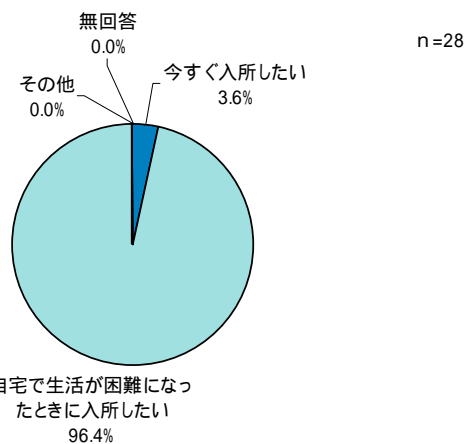
単位：%

	回答者数 (人)	専門的な介護 が受けられて、 安心して生活 できるため	自宅で介護を 受けたいが、 先々の心配が あるため	介護をしてい る家族の負担 が大きいため	介護者が いないため	経済的な 理由のため	その他	無回答
全 体	54	24.1	11.1	11.1	37.0	9.3	0.0	11.1
家 同 族 居	ひとり暮らし	26	26.9	3.8	7.7	46.2	7.7	0.0
独 日 居 中	いつもある	7	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0

(3) 施設に入所したい時期

問10-2 いつ介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所したいですか。（1つに）

問9で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」と答えた人に、いつ入所したいかを聞いた。「自宅で生活が困難になったときに入所したい」が96.4%と大半である。



[要介護状態区分]

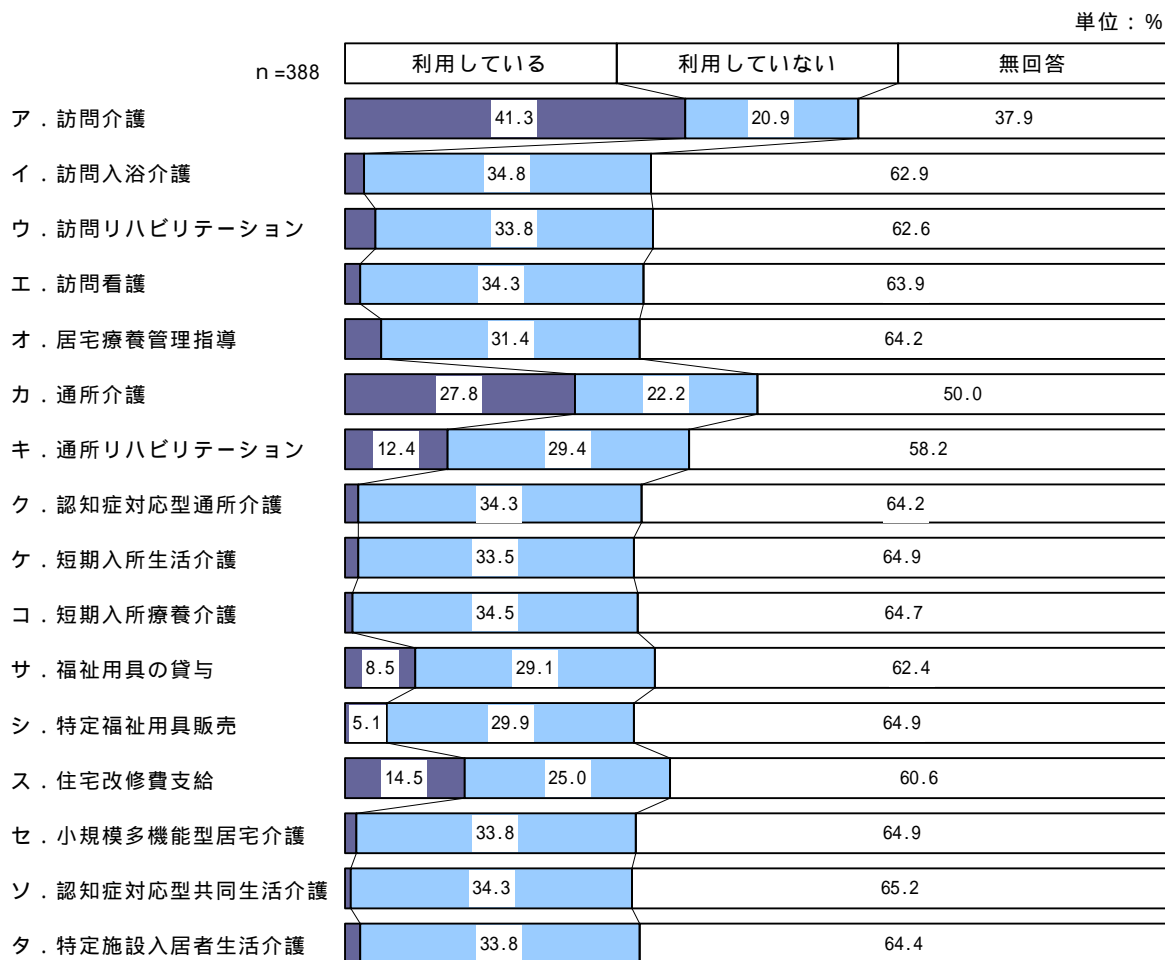
「今すぐ入所したい」は、要支援1はゼロ、要支援2は5.9%、1人である。

4. 介護保険サービスの利用について

(1) 利用の有無

問 11 あなたが利用している介護保険サービスについて、日ごろどのように感じていますか。それぞれの利用状況、また利用していればその感想についてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに)

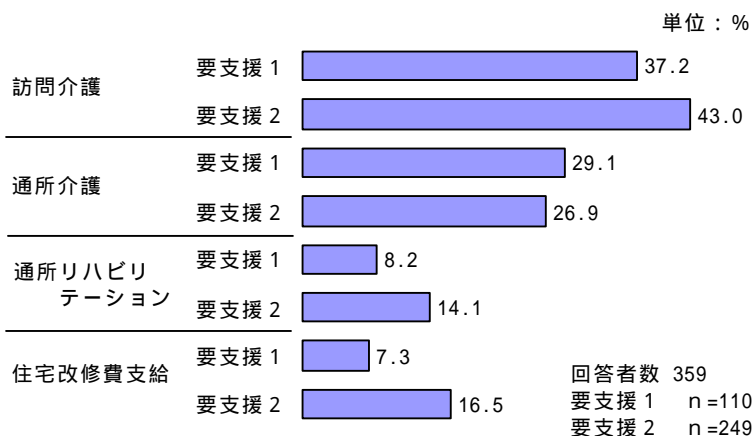
「利用している」は「訪問介護」41.3%、「通所介護」27.8%、「住宅改修費支給」14.5%、「通所リハビリテーション」12.4%の4つのサービスのみ2ケタ台である。



注：5%未満の数値は表記していない

[要介護状態区分]

要支援1、要支援2、いずれか10%以上の利用は、右の通りである。「通所介護」を除いては、要支援2の利用が要支援1を上回る。



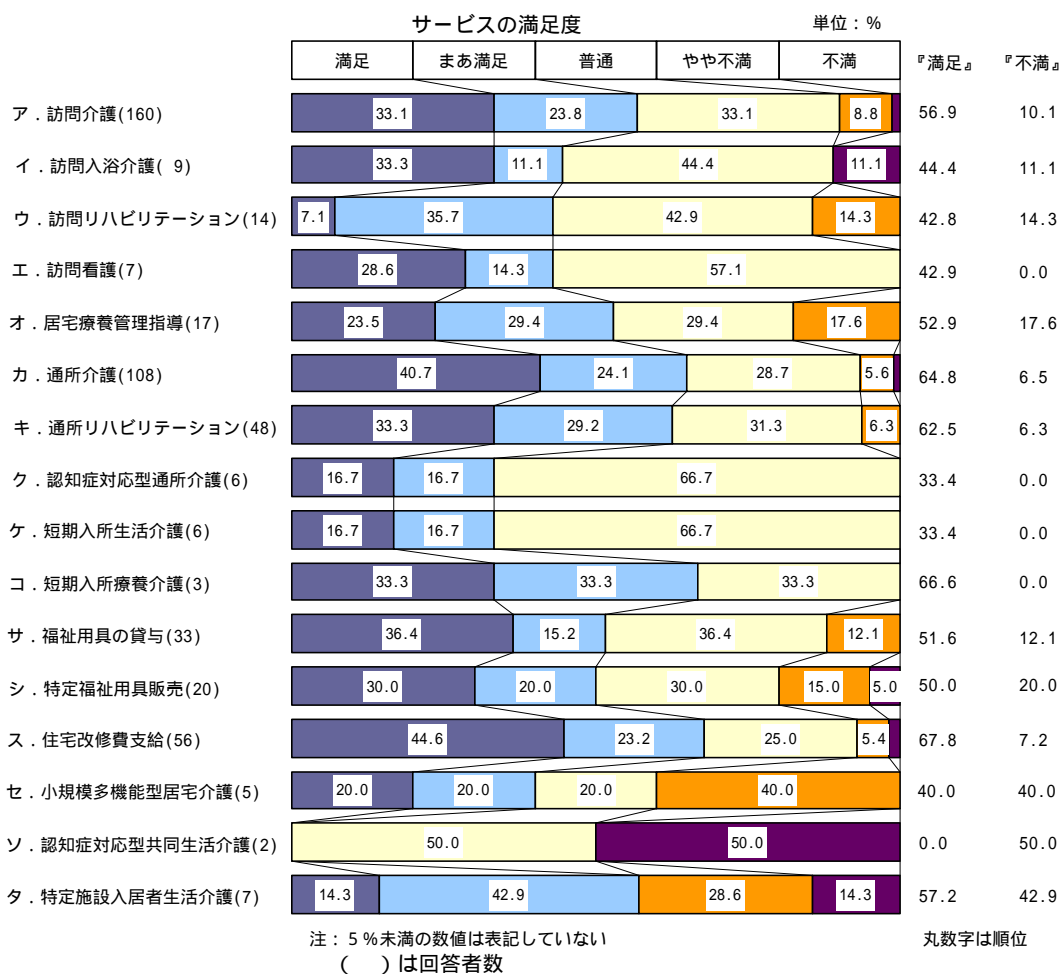
(2) 満足度

「満足」が最も多いのが「住宅改修費支給」44.6%、次いで「通所介護」40.7%、「福祉用具の貸与」36.4%、「訪問入浴介護」及び「通所リハビリテーション」、「短期入所療養介護」いずれも33.3%などである。

「満足」に「まあ満足」を合わせた『満足』についても、「住宅改修費支給」67.8%、「短期入所療養介護」66.6%、「通所介護」64.8%、「通所リハビリテーション」62.5%、「特定施設入居者生活介護」57.2%などであり、「特定施設入居者生活介護」以外の項目は共通している。

これに対し「不満」は、「特定施設入居者生活介護」14.3%、「訪問入浴介護」11.1%、「特定福祉用具販売」5.0%などである。（「認知症対応型共同生活介護」は回答者が2人のため除く。以下同じ。）

「不満」に「やや不満」を合わせた『不満』は、「特定施設入居者生活介護」42.9%、「小規模多機能型居宅介護」40.0%、「特定福祉用具販売」20.0%などである。



(3) サービスを利用していない理由 (問11で「利用していない」に をつけた人)

問11-1 あなたがどのサービスも利用していない理由は何ですか。(1つに)

問11でどのサービスも利用していない理由を聞いているが、回答者は24人と少ない。「自分でまだできるから」が13人、54.2%と半数を超える。次いで「利用したいサービスがないから」3人、12.5%、「家族等の介護で十分だから」2人、8.3%などである。

(4) 満足の理由

(問11で「満足」「まあ満足」に をつけた人)

問11-2 あなたはどのような点に「満足」していますか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問10の各種介護保険サービスについて『満足』と答えた理由を聞いた。回答者が少ないため、回答者数が10人以上の6つのサービスについてみる。4つのサービスで1位としているのが、「サービス担当者の心構えや対応がよい」であり、「希望するサービスが受けられた」は2つのサービスで1位である。各サービスであげられた上位は、この両項目に加え、「自分でサービス事業者を選べた」や「在宅生活が続けられる」などである。

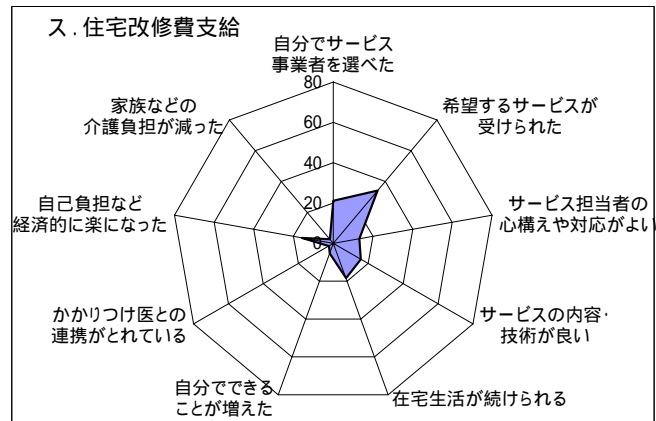
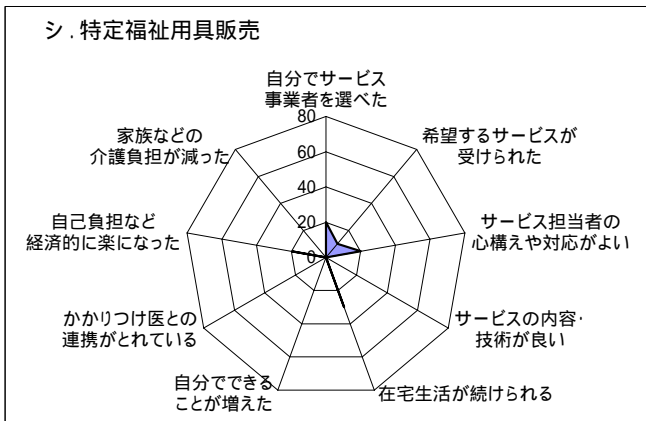
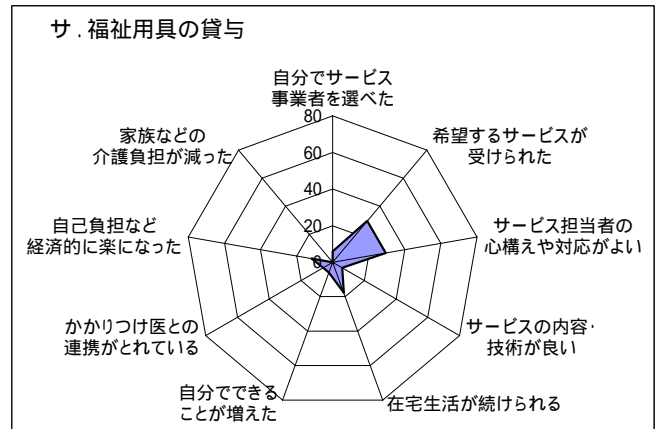
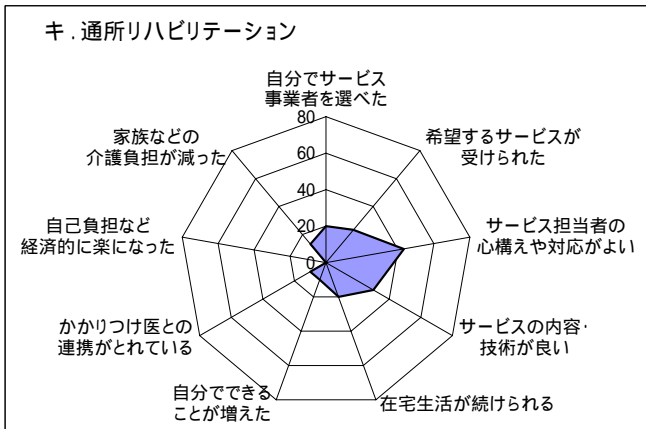
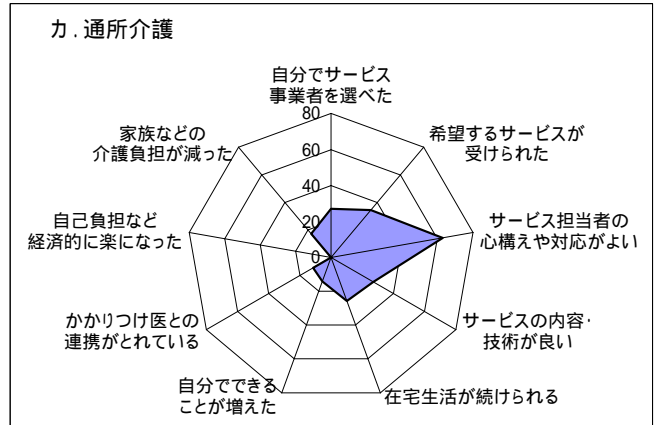
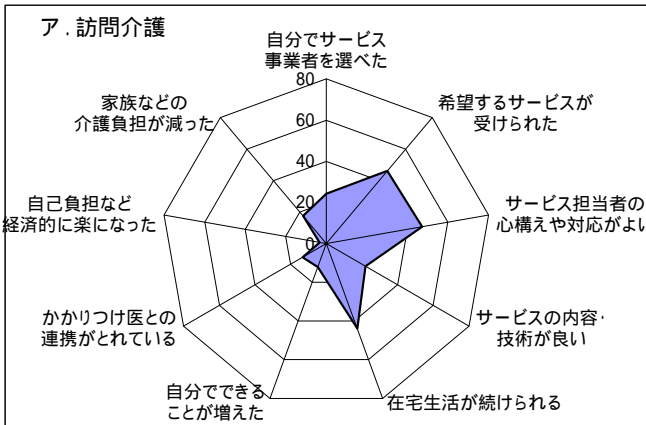
サービスの種類にみる満足の理由

単位：%

サービスの種類	回答者数(人)	自分でサービス事業者を選べた	希望するサービスが受けられた	サービス担当者の心構えや対応がよい	サービスの技術が良い	在宅生活が続けられる	自分のできるが増えた	かかりつけ医との連携がとれている	経済的に楽になった	自己負担など介護負担が減った	家族などの介護負担が減った	その他	無回答
ア．訪問介護	91	24.2	46.2	47.3	22.0	44.0	12.1	13.2	3.3	17.6	3.3	19.8	
イ．訪問入浴介護	4	50.0	75.0	75.0	50.0	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
ウ．訪問リハビリテーション	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	
エ．訪問看護	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	
オ．居宅療養管理指導	9	0.0	33.3	11.1	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	
カ．通所介護	70	27.1	34.3	62.9	27.1	25.7	14.3	11.4	0.0	17.1	0.0	25.7	
キ．通所リハビリテーション	30	20.0	23.3	43.3	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	13.3	3.3	36.7	
ク．認知症対応型通所介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
ケ．短期入所生活介護	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
コ．短期入所療養介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
サ．福祉用具の貸与	17	5.9	29.4	29.4	5.9	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	47.1	
シ．特定福祉用具販売	10	20.0	10.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	30.0	
ス．住宅改修費支給	38	21.1	34.2	13.2	15.8	18.4	5.3	2.6	15.8	2.6	0.0	50.0	
セ．小規模多機能型居宅介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ソ．認知症対応型共同生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
タ．特定施設入居者生活介護	4	0.0	25.0	50.0	75.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	

注：丸数字は順位（回答者数10人以上にのみ）

満足の理由比較（回答者数 10 人以上の項目）



(5) 不満の理由

(問11で「やや不満」「不満」に をつけた人)

問11-3 あなたはどのような点が「不満足」でしたか。利用している介護保険サービスについて、あてはまる番号に をつけてください。(はいくつでも)

問11の各種介護保険サービスについて、『不満』と答えた理由を聞いた。回答者が10人以上は「訪問介護」のみである。

「訪問介護」においては「サービスのレベルが低い」37.5%、「希望する日時にサービスを利用できなかった」及び「希望する回数が利用できなかった」、「担当者の心構えや対応が悪い」いずれも18.8%が上位にあげられている。

サービスの種類にみる不満の理由

単位：%

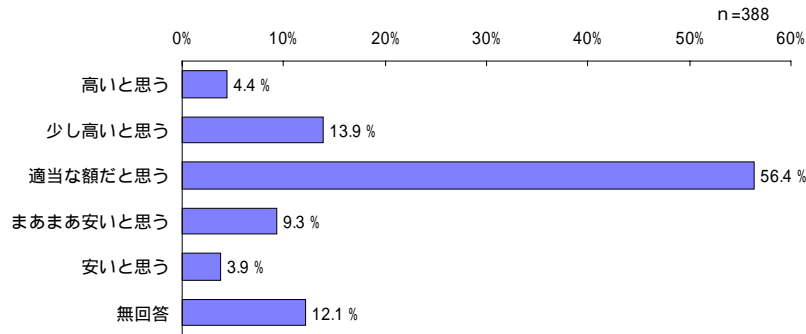
サービスの種類	回答者数(人)	事業者が少ない	希望する日時にサービスを利用できなかった	希望する回数が利用できなかった	担当者の心構えや対応が悪い	サービスのレベルが低い	事業者の説明が不十分	聞いてくれなかった	事業者が要望を	約束どおりサービスを	受けられなかった	担当者が頻繁にかわった	自己負担が重い	その他	無回答
ア．訪問介護	16	12.5	18.8	18.8	18.8	37.5	0.0	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	37.5		
イ．訪問入浴介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ウ．訪問リハビリテーション	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
エ．訪問看護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
オ．居宅療養管理指導	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
カ．通所介護	7	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	57.1		
キ．通所リハビリテーション	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7		
ク．認知症対応型通所介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ケ．短期入所生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
コ．短期入所療養介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
サ．福祉用具の貸与	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0		
シ．特定福祉用具販売	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0		
ス．住宅改修費支給	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		
セ．小規模多機能型居宅介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
ソ．認知症対応型共同生活介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
タ．特定施設入居者生活介護	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7		

注：丸数字は順位（回答者数10人以上にのみ）

(6) 利用者負担分について

問12 介護保険のサービスを利用するにあたって支払う利用者負担分(1割負担)についてどのように感じていますか。(1つに)

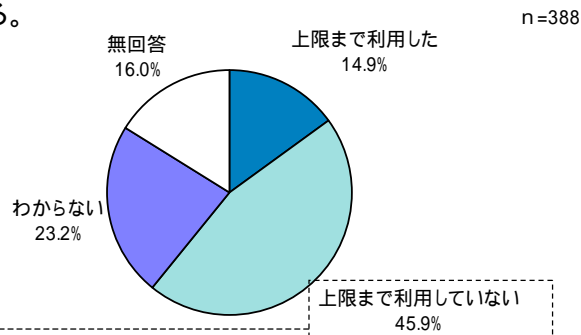
利用者負担分(1割負担)については、「適当な額だと思う」56.4%と半数を超える。以下「少し高いと思う」13.9%、「まあまあ安いと思う」9.3%、「高いと思う」4.4%、「安いと思う」3.9%の順である。



(7) 区分支給限度額の利用

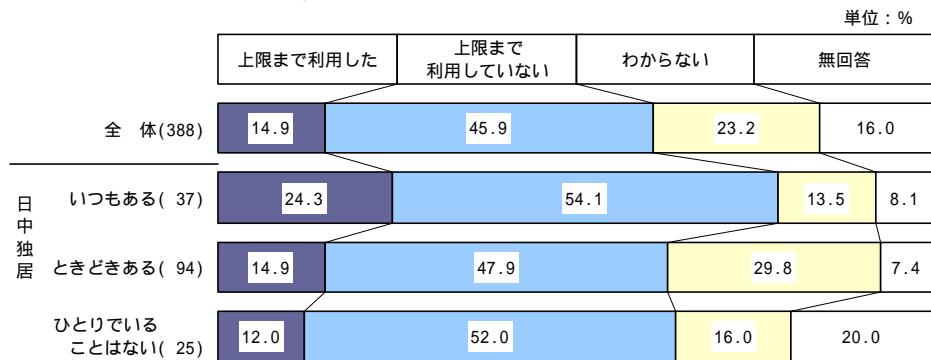
問13 介護保険サービスの利用額について、制度上利用できる上限(区分支給限度額)いっぱいまで利用しましたか。(1つに)

「上限まで利用していない」が45.9%と約半数を占める。次いで「わからない」23.2%、「上限まで利用した」14.9%である。



[日中独居]

日中いつもひとりであることの多い人は、「上限まで利用した」が24.3%と他を上回る。ひとり暮らしは全体結果と変わらない。



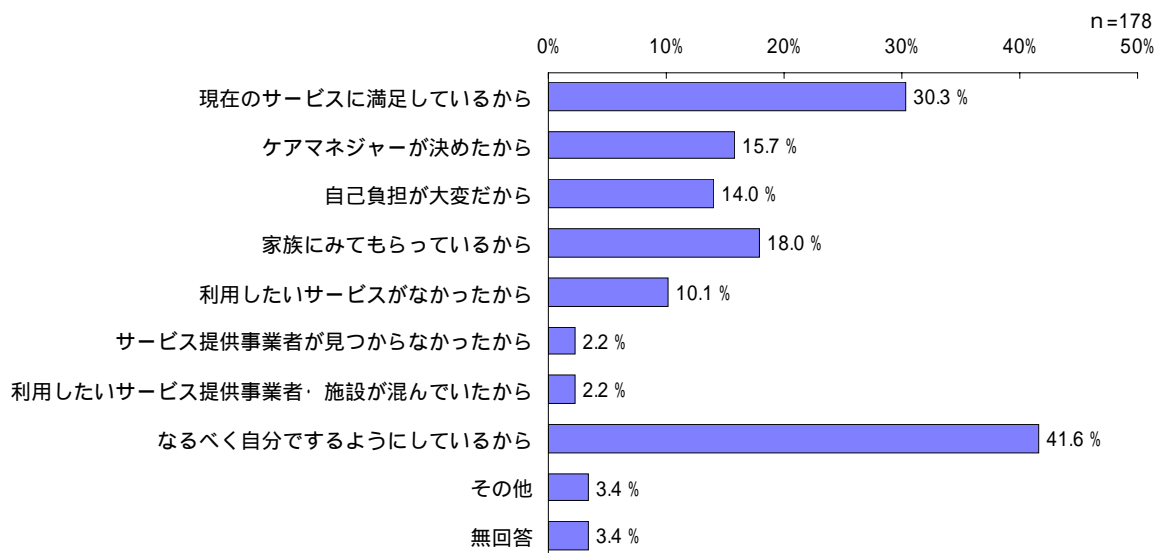
[要介護状態区分]

「上限まで利用していない」は、要支援1が42.7%、要支援2が45.4%である。

(8) 上限まで利用しない理由

問 13- 1 上限まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

問 13 で「上限まで利用していない」と答えた人にその理由を聞いた。最も多いのが、「なるべく自分でするようにしているから」41.6%、次いで「現在のサービスに満足しているから」30.3%、「家族に見てもらっているから」18.0%、「ケアマネジャーが決めたから」15.7%、「自己負担が大変だから」14.0%などである。



[要介護状態区分]

「なるべく自分でするようにしているから」は、要支援 2 が 45.2%と要支援 1 の 36.2%を上回り、「ケアマネジャーが決めたから」は、要支援 1 の 25.5%が要支援 2 の 13.3%を上回る。

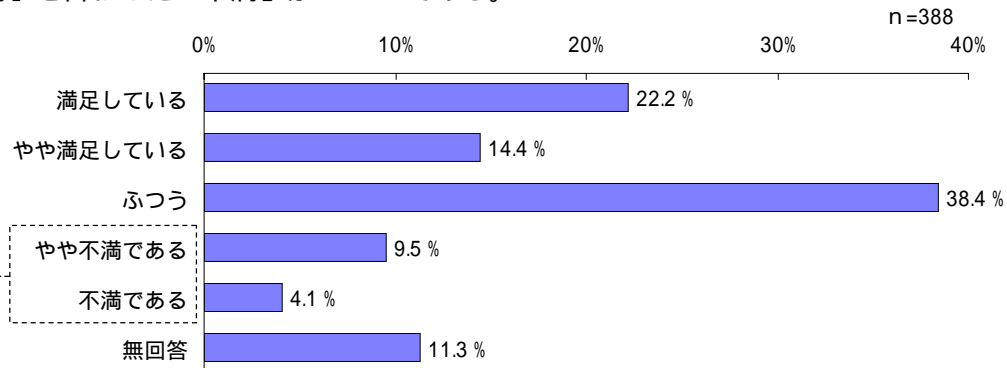
5. ケアプランについて

(1) ケアプランの満足度

問14 あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1つに)

「ふつう」が38.4%と最も多く、「満足している」22.2%、「やや満足している」14.4%、「やや不満である」9.5%、「不満である」4.1%である。

「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』が36.6%、「やや不満である」と「不満」を合わせた『不満』が13.6%である。

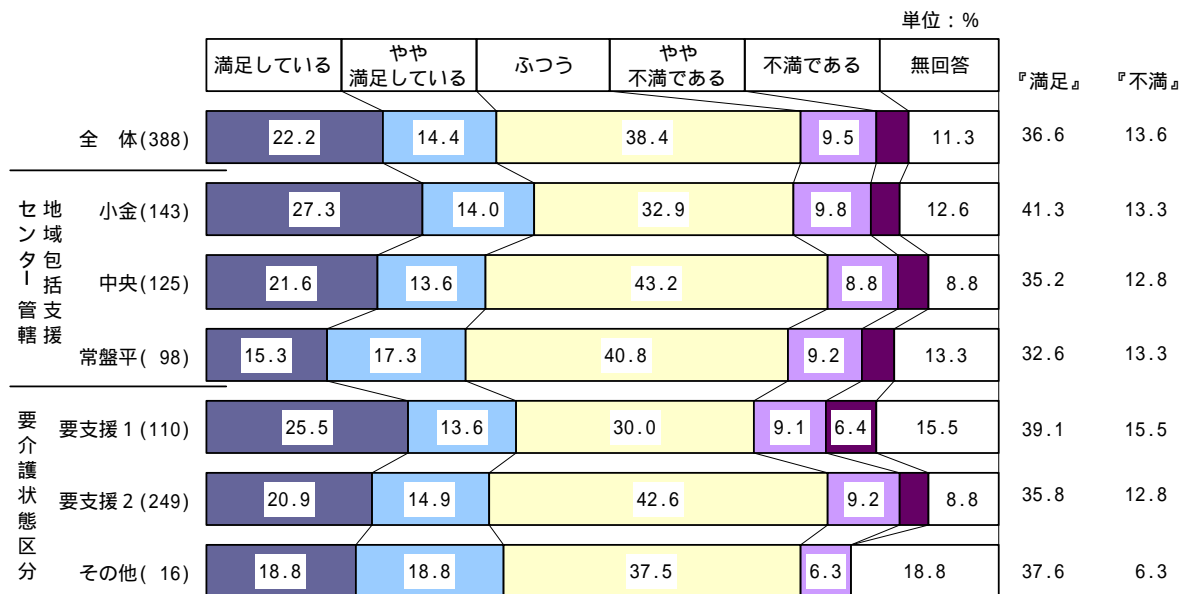


[地域包括支援センター管轄区分]

『満足』は小金41.3%、中央35.2%、常盤平32.6%の順であり、『不満』はほとんど差がない。

[要介護状態区分]

『満足』は要支援1が39.1%、要支援2が35.8%、『不満』は要支援1が15.5%、要支援2が12.8%、『満足』、『不満』とも要支援1が上回る。

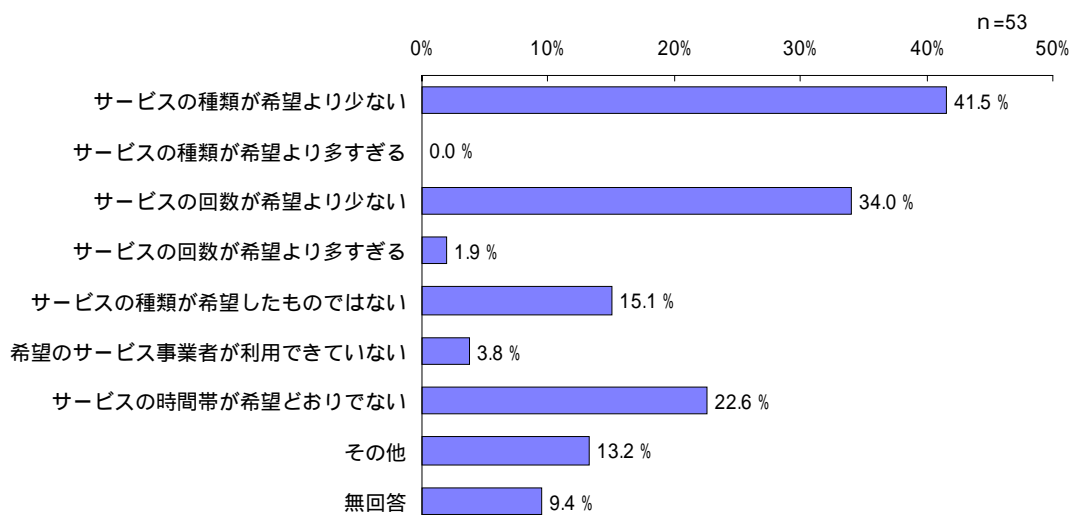


注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

(2) 不満の内容

問 14- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 14 で『不満』と答えた人にその内容を聞いた。最も多いのが、「サービスの種類が希望より少ない」41.5%、次いで「サービスの回数が希望より少ない」34.0%、「サービスの時間帯が希望どおりでない」22.6%、「サービスの種類が希望したものではない」15.1%などである。



[地域包括支援センター管轄区分]

「サービスの種類が希望より少ない」は小金 42.1%、中央 43.8%、常盤平 30.8%である。小金、中央は「サービスの種類が希望より少ない」を最も多くあげているが、常盤平は「サービスの回数が希望より少ない」38.5%である。また、「サービスの回数が希望より少ない」は中央も37.5%と多い。

[要介護状態区分]

「サービスの種類が希望より少ない」は要支援 1、52.9%、要支援 2、37.5%と最も多いが、要支援 2 では同じく「サービスの回数が希望より少ない」があげられている。また、「サービスの時間帯が希望どおりでない」についても、要支援 2 の 28.1%が要支援 1 の 11.8%を大きく上回る。

単位：%

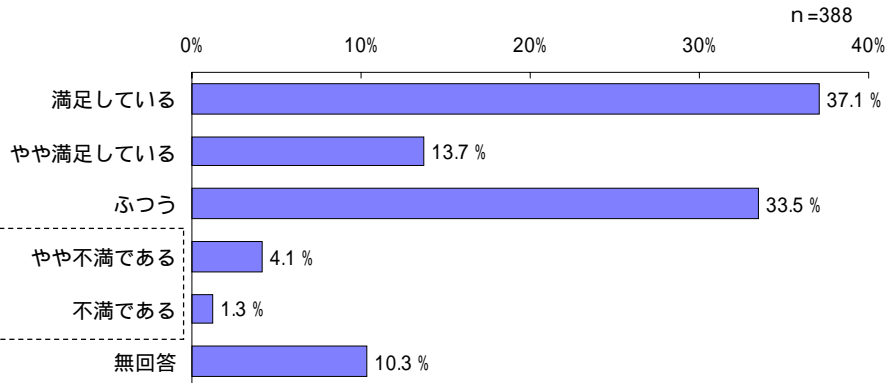
	回答者数 (人)	サービスの種類が希望より少ない	サービスの種類が希望より多すぎる	サービスの回数が希望より少ない	サービスの回数が希望より多すぎる	サービスの種類が希望したものではない	希望のサービス事業者が利用できていない	サービスの時間帯が希望どおりでない	その他	無回答	
全 体	53	41.5	0.0	34.0	1.9	15.1	3.8	22.6	13.2	9.4	
地 域 包 括 支 援 管 轄	小金	19	42.1	0.0	31.6	5.3	15.8	5.3	26.3	10.5	10.5
	中央	16	43.8	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	31.3	12.5	12.5
	常盤平	13	30.8	0.0	38.5	0.0	23.1	7.7	15.4	15.4	0.0
要 介 護 状 態 区 分	要支援 1	17	52.9	0.0	23.5	0.0	5.9	5.9	11.8	17.6	17.6
	要支援 2	32	37.5	0.0	37.5	3.1	18.8	3.1	28.1	9.4	6.3
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. ケアマネジャーについて

(1) ケアマネジャーの満足度

問15 あなたは、現在のケアプランを作成してくれる方に満足していますか。(1つに)

「満足している」37.1%、「やや満足している」13.7%であり、合わせた『満足』は50.8%である。これに対し「やや不満である」%と「不満である」を合わせた『不満』は5.4%である。

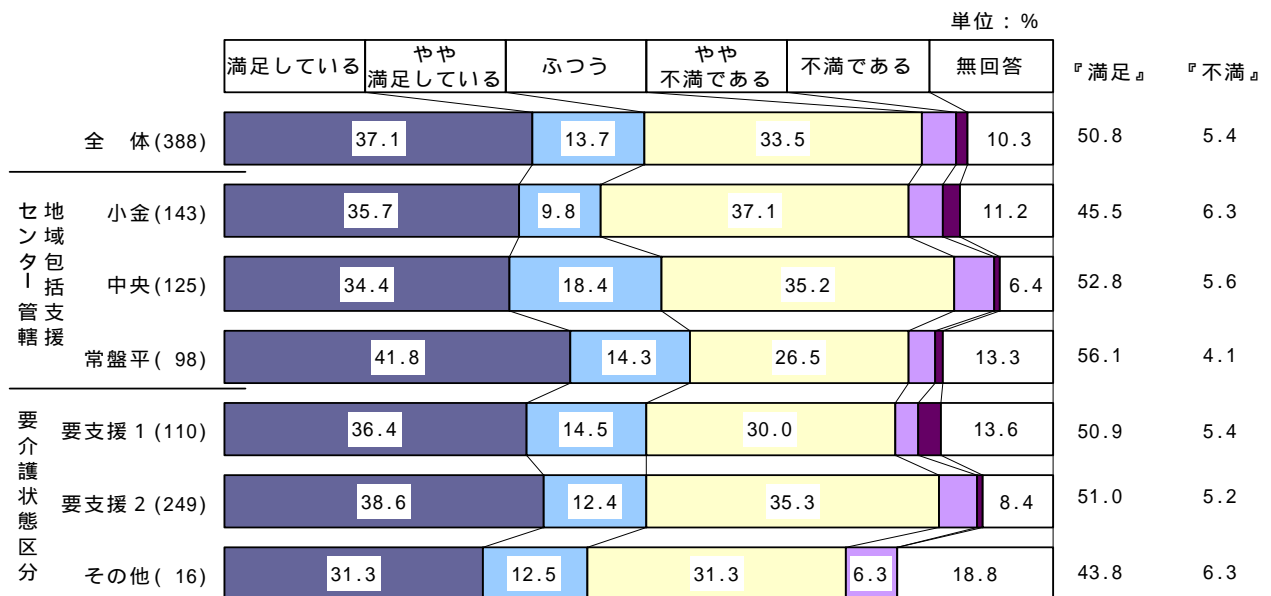


[地域包括支援センター管轄区分]

『満足』は常盤平 56.1%、中央 52.8%、小金 45.5%であり、ケアプランの満足度とは逆である。

[要介護状態区分]

『満足』は要支援1が50.9%、要支援2が51.0%とほぼ同じである。

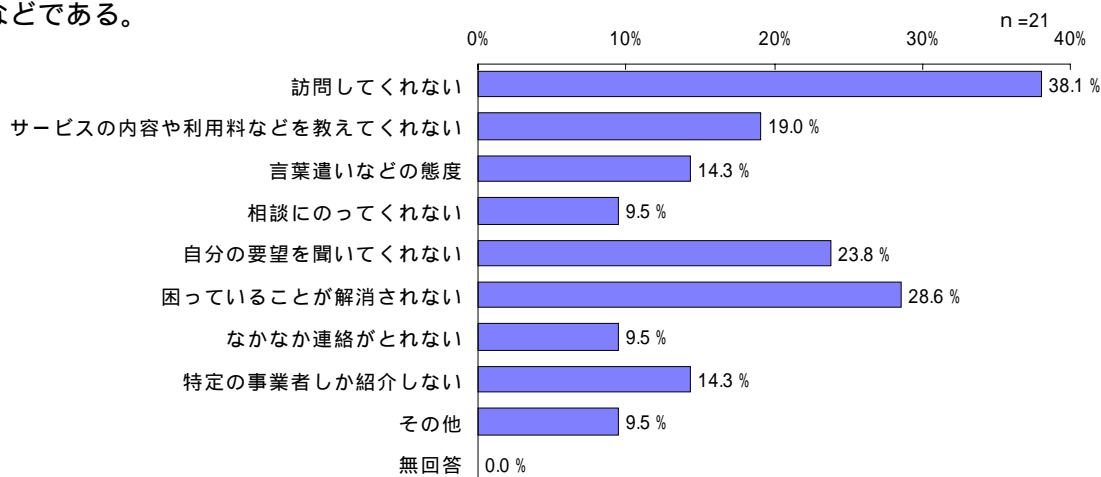


注：5%未満の数値は表記していない () は回答者数

(2) 不満の内容

問 15- 1 ご不満の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに)

問 15 で『不満』と答えた人に不満の内容を聞いたものであるが、回答者数は 21 人と少ない。最も多いのが、「訪問してくれない」38.1%、次いで「困っていることが解消されない」28.6%、「自分の要望を聞いてくれない」23.8%、「サービスの内容や利用料などを教えてくれない」19.0%などである。

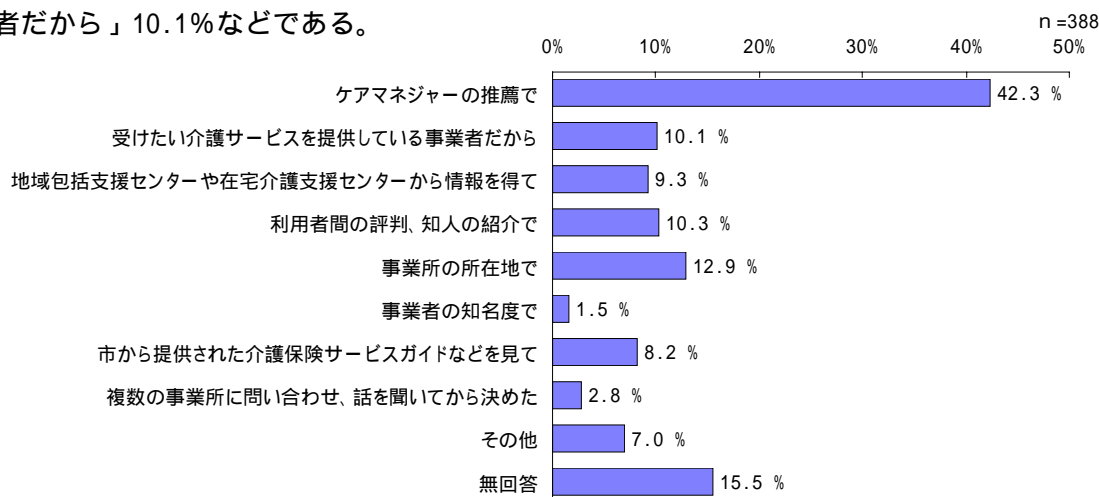


7. サービス事業者について

(1) サービス事業者選定の理由

問 16 サービス事業者はどのような理由で選びましたか。(あてはまるものすべてに)

「ケアマネジャーの推薦で」42.3%が最も多い。以下はやや差があり、「事業所の所在地で」12.9%、「利用者間の評判、知人の紹介で」10.3%、「受けたい介護サービスを提供している事業者だから」10.1%などである。



[地域包括支援センター管轄区分]

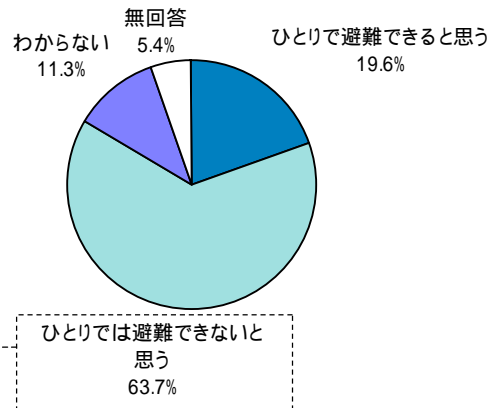
「ケアマネジャーの推薦で」は小金 44.1%、中央 41.6%、常盤平 40.8%とほとんど差がない。「受けたい介護サービスを提供している事業者だから」は中央 13.6%、「地域包括支援センターや在宅介護支援センターから情報を得て」及び「市から提供された介護保険サービスガイドなどを見て」は小金 13.3%、「利用者間の評判、知人の紹介で」は常盤平が 15.3%と多い。

8 . 災害など緊急事態の対応について

(1) 緊急時のひとりでの避難

問17 災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難場所まで避難できると思いますか。(1つに)

「ひとりでは避難できないと思う」63.7%、「ひとりで避難できると思う」19.6%、「わからない」11.3%である。 n=388

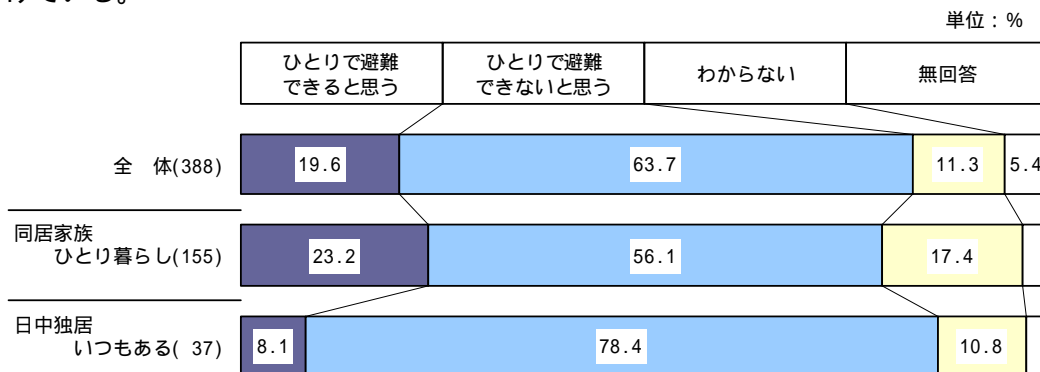


[ひとり暮らし]

「ひとりで避難できると思う」はひとり暮らしは23.2%と、夫婦二人暮らし(二人とも64歳以下)25.0%に次ぐ。逆に「ひとりでは避難できないと思う」は、ひとり暮らしは56.1%と最も少ない。

[日中独居]

日中いつもひとりでいることの多い人は、「ひとりで避難できないと思う」が78.4%と、約8割があげている。



注：5%未満の数値は表記していない ()は回答者数

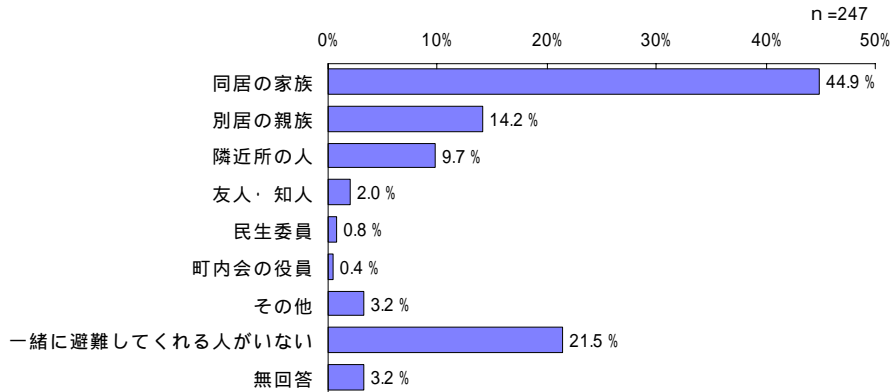
[居住地区]

「ひとりで避難できると思う」は小金地区の44.4%が他を大きく引き離している。「ひとりでは避難できないと思う」は本庁81.3%、馬橋77.4%、新松戸及び明第2西ともに76.2%、東部75.0%、矢切72.2%などの順である。

(2) 一緒に避難してくれる人

問 17-1 一緒に避難場所まで避難してくれる人がいますか。(1つに)

問 17 で「ひとりでは避難できないと思う」と答えた人に聞いたものである。「同居の家族」が 44.9%、「一緒に避難してくれる人がいない」21.5%、「別居の親族」14.2%などの順である。

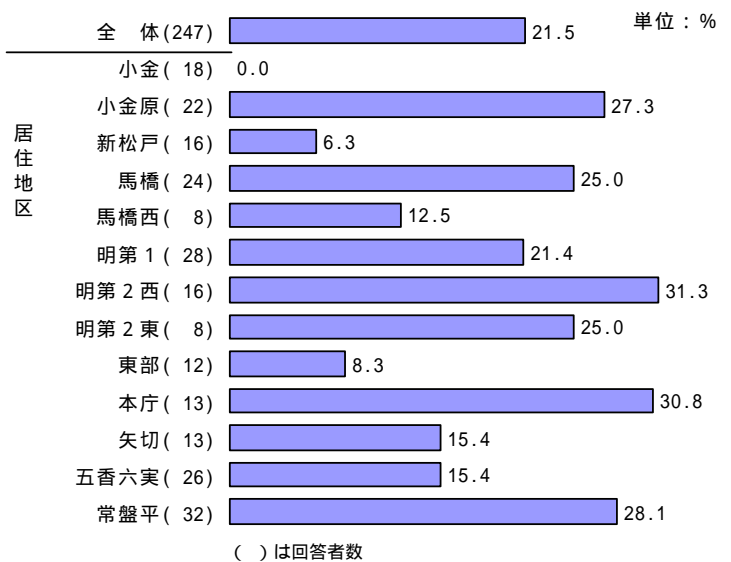


[ひとり暮らし・日中独居]

「一緒に避難してくれる人がいない」は、ひとり暮らしが 37.9%、日中ひとりであることの多い人では 20.7%である。

[居住地区]

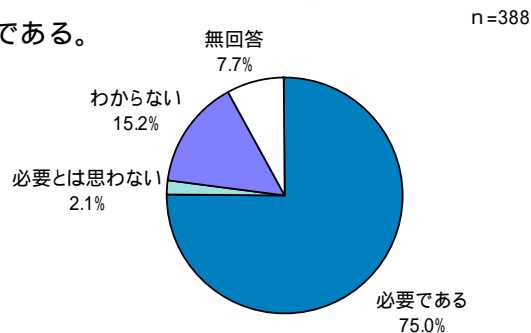
「一緒に避難してくれる人がいない」は、明第 2 西 31.3%、本庁 30.8%、常盤平 28.1%、小金原 27.3%などの順である。



(3) 災害避難での情報の地域共有

問 18 災害時の避難などに手助けが必要な人の情報を地域で共有することについてどう思いますか。(1つに)

手助けが必要な人の情報を地域で共有することについて、「必要である」が 75.0%に対し、「必要とは思わない」がわずか 2.1%である。



[ひとり暮らし・日中独居]

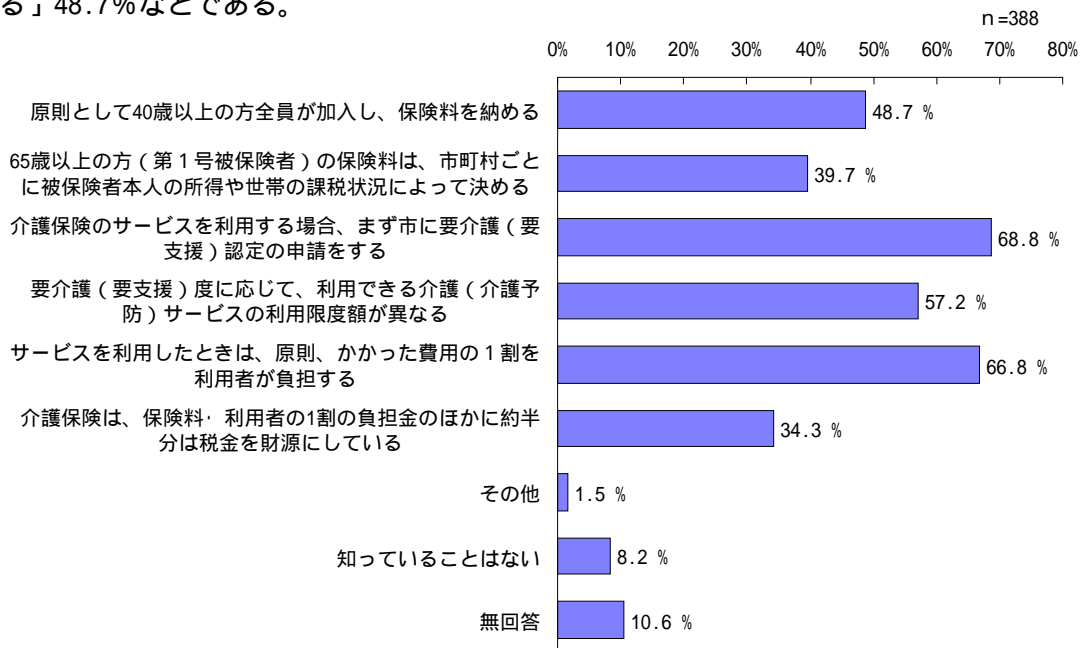
「必要である」は、ひとり暮らしは全体結果と同程度の 74.2%であるが、いつもひとりであることの多い人は 86.5%と多い

9 . 介護保険について

(1) 介護保険制度

問 19 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに)

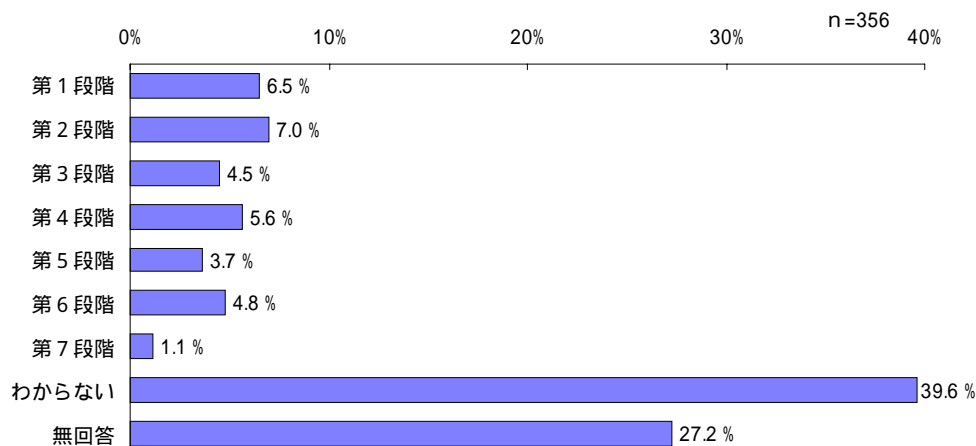
介護保険制度について知っていることとして、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護（要支援）認定の申請をする」68.8%、「サービスを利用したときは、原則、かかった費用の1割を利用者が負担する」66.8%、「要介護（要支援）度に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」57.2%、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」48.7%などである。



(2) 平成 19 年度の介護保険料

問 20 あなたの平成 19 年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか (1 つに)

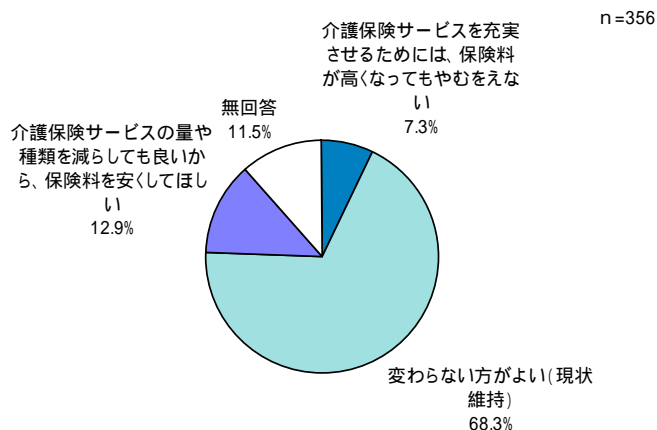
介護保険料の段階は、「第2段階」7.0%、「第1段階」6.5%、「第4段階」5.6%、「第6段階」4.8%などであるが、「わからない」39.6%、「無回答」が27.2%と6割以上の人に記入がない。



(3) 介護保険料の今後

問 21 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに)

「変わらない方がよい(現状維持)」が68.3%、「介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」12.9%、「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」7.3%である。



[介護保険料の段階]

第7段階は回答者が4人なので参考にとどめる。第1段階から第6段階までいずれも最も多いのは、「変わらない方がよい(現状維持)」であり、第5段階の92.3%、第4段階の85.0%、第3段階の81.3%などの順である。

「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」は第6段階の23.5%が、これに対し「介護保険サービスの量や種類を減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」は第1段階の17.4%がそれぞれ最も多い。

単位：%

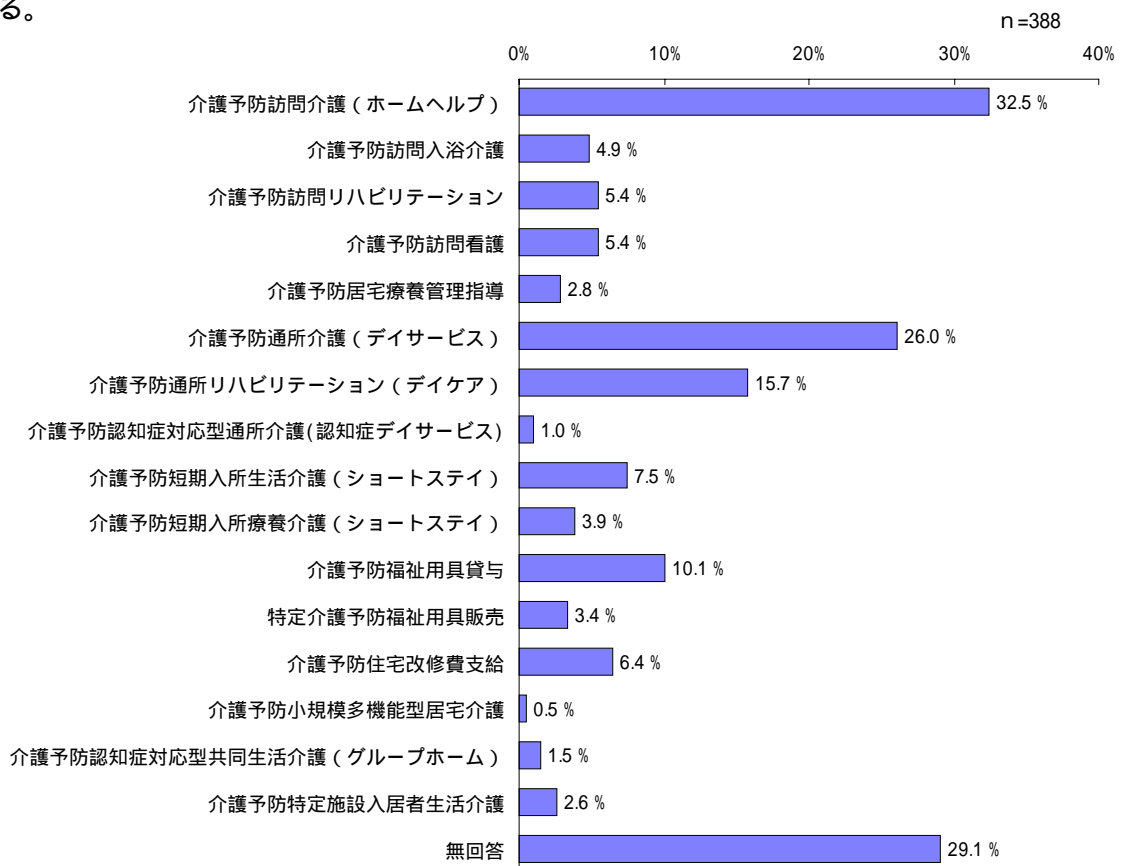
	回答者数 (人)	介護保険サービスを 充実させるために は、保険料が高くなっ てもやむをえない	変わらない方がよい (現状維持)	介護保険サービスの 量や種類を減らして も良いから、保険料 を安くしてほしい	無回答	
合計	356	7.3	68.3	12.9	11.5	
介護 保険 料の 段階	第1段階	23	8.7	69.6	17.4	4.3
	第2段階	25	4.0	72.0	16.0	8.0
	第3段階	16	12.5	81.3	0.0	6.3
	第4段階	20	10.0	85.0	5.0	0.0
	第5段階	13	0.0	92.3	0.0	7.7
	第6段階	17	23.5	64.7	11.8	0.0
	第7段階	4	0.0	50.0	50.0	0.0
わからない	141	8.5	70.2	17.7	3.5	

10. 介護サービスについて

(1) 今後1年利用したいサービス

問22 あなたは、今後1年間のうちで、以下のサービスを利用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに)

今後1年間のうちで利用したいサービスは、「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」32.5%、「介護予防通所介護(デイサービス)」26.0%、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」15.7%、「介護予防福祉用具貸与」10.1%、「介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)」7.5%などである。



[地域包括支援センター管轄区分]

いずれも上位は「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」、「介護予防通所介護(デイサービス)」、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」である。なかでも小金は、「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」が37.1%と、中央の29.6%、常盤平の30.6%をやや上回り、「介護予防通所介護(デイサービス)」では中央が30.4%と小金の24.5%、常盤平の25.5%を上回る。また、常盤平の「介護予防福祉用具貸与」は5.1%と小金の10.5%、中央の12.8%とやや差がある。

単位：%

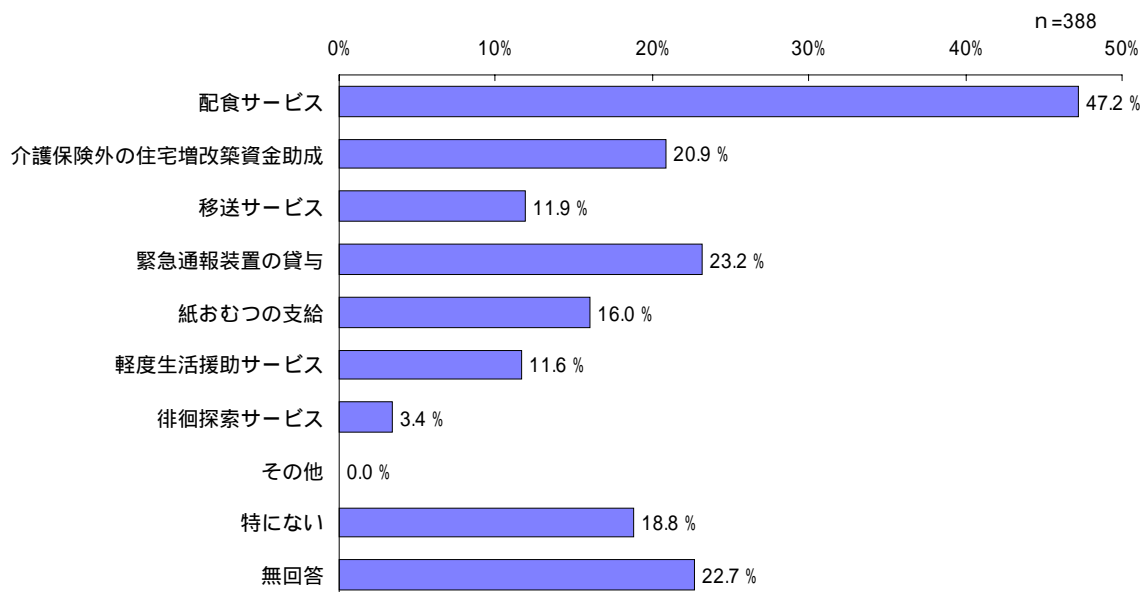
	回答者数 (人)	介護予防 訪問介護 (ホームヘルプ)	介護予防 訪問入浴 介護	介護予防 訪問リハビ リテーション	介護予防 訪問看護	介護予防 居宅療養 管理指導	介護予防 通所介護 (デイサービス)	介護予防 通所リハビ リテーション (デイケア)	介護予防 認知症対応型 通所介護(認 知症デイサー ビス)	介護予防 短期入所 生活介護 (ショートステイ)	
全 体	388	32.5	4.9	5.4	5.4	2.8	26.0	15.7	1.0	7.5	
地 域 セ ン タ ー 支 援 管 轄	小金	143	37.1	5.6	7.0	6.3	2.8	24.5	16.8	2.8	9.1
	中央	125	29.6	7.2	2.4	4.0	4.8	30.4	16.8	0.0	8.0
	常盤平	98	30.6	2.0	5.1	6.1	1.0	25.5	13.3	0.0	6.1

	回答者数 (人)	介護予防 短期入所 療養介護 (ショートステイ)	介護予防 福祉用具 貸与	特定介護 予防福祉 用具販売	介護予防 住宅改修 費支給	介護予防 小規模多 機能型居 宅介護	介護予防 認知症対応型 共同生活 介護(グループ ホーム)	介護予防 特定施設 入居者 生活介護	無回答
全 体	388	3.9	10.1	3.4	6.4	0.5	1.5	2.6	29.1
地 域 セ ン タ ー 支 援 管 轄	小金	143	5.6	10.5	3.5	7.7	0.7	2.1	27.3
	中央	125	2.4	12.8	3.2	5.6	0.8	1.6	27.2
	常盤平	98	4.1	5.1	4.1	5.1	0.0	1.0	31.6

(2) 介護保険以外の福祉サービス

問 23 松戸市では、在宅生活を支援するため、介護保険サービス以外に次の福祉サービスを実施しています。あなたの知っているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに)

介護保険サービス以外の知っている福祉サービスは、「配食サービス」47.2%、「緊急通報装置の貸与」23.2%、「介護保険外の住宅増改築資金助成」20.9%などの順である。

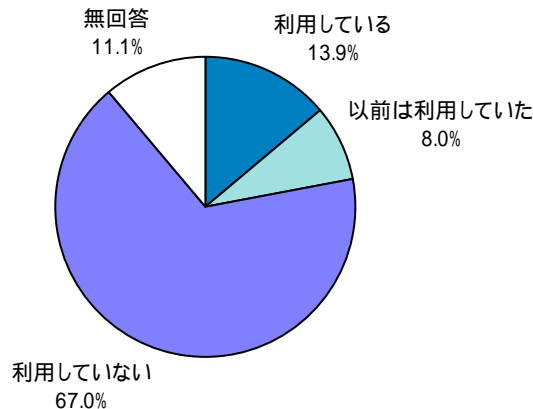


11. 配食サービスについて

(1) 配食サービスの利用

問 24 あなたは、配食サービスを利用したことがありますか。(1つに)

配食サービスの利用については、「利用していない」が67.0%、「利用している」13.9%、「以前は利用していた」8.0%である。「利用している」及び「以前は利用していた」を合わせた『利用』は21.9%、約2割である。 n=388



【ひとり暮らし・日中独居】

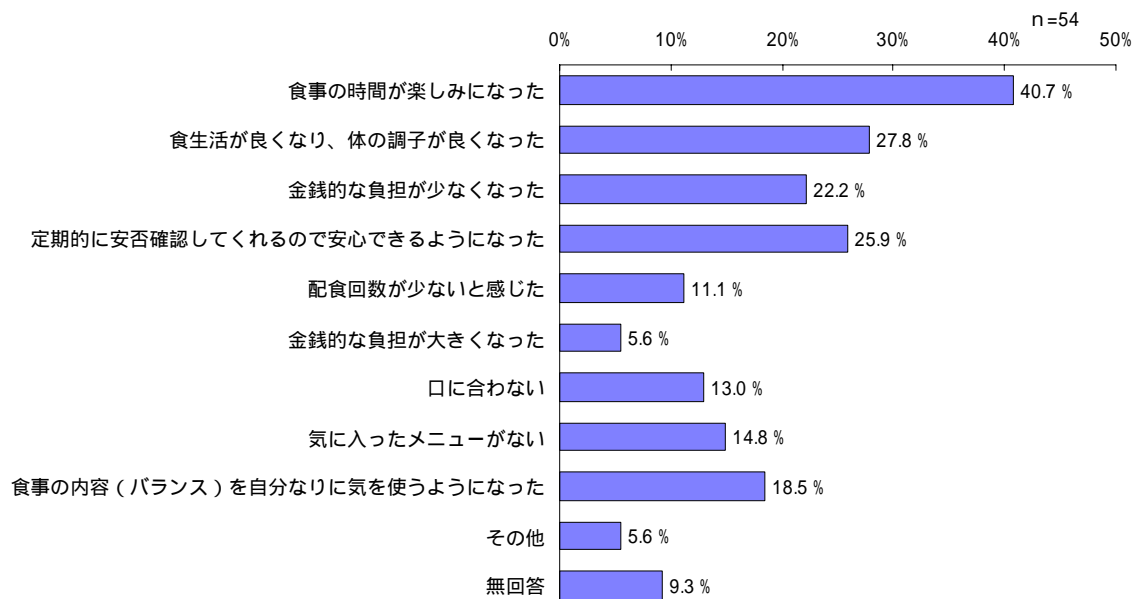
配食サービスの『利用』は、ひとり暮らしで31.0%、日中いつもひとりでいることの多い人で29.7%ともに約3割となっている。

(2) 利用してみたの感想

(問 24 で「利用している」に つけた人)

問 24- 1 利用してみたの感想はいかがですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「利用している」と答えた人に感想を聞いた。「食事の時間が楽しになった」40.7%、「食生活が良くなり、体の調子が良くなった」27.8%、「定期的に安否確認してくれるので安心できるようになった」25.9%、「金銭的な負担が少なくなった」22.2%などである。

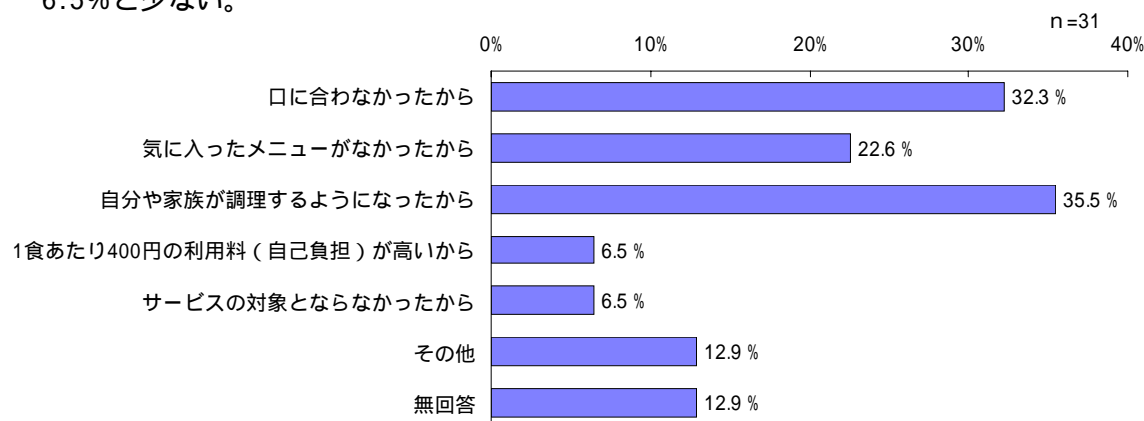


(3) 現在利用していない理由

(問 24 で「以前利用していた」に をつけた人)

問 24- 2 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

問 24 で「以前は利用していた」と答えた人に、現在利用していない理由を聞いた。「自分や家族が調理するようになったから」35.5%、「口に合わなかったから」32.3%、「気に入ったメニューがなかったから」22.6%、であり、「1食あたり 400 円の利用率(自己負担)が高いから」は6.5%と少ない。

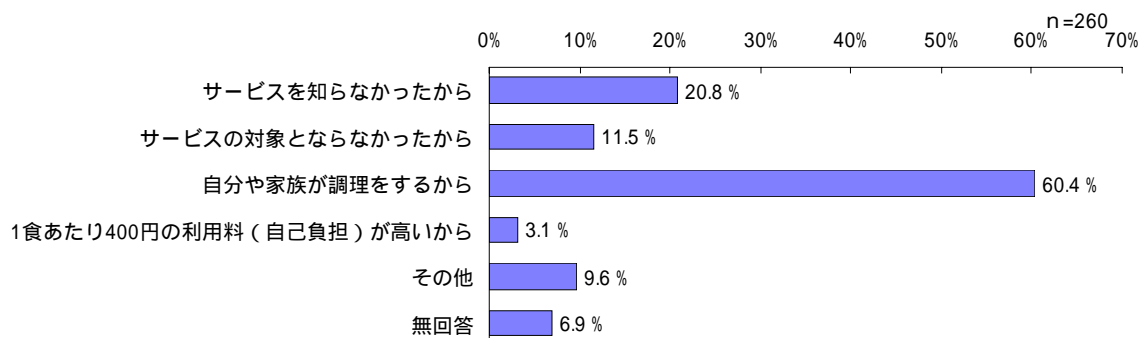


(4) 利用していない理由

(問 24 で「利用していない」に をつけた人)

問 24- 3 現在、利用していない理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに)

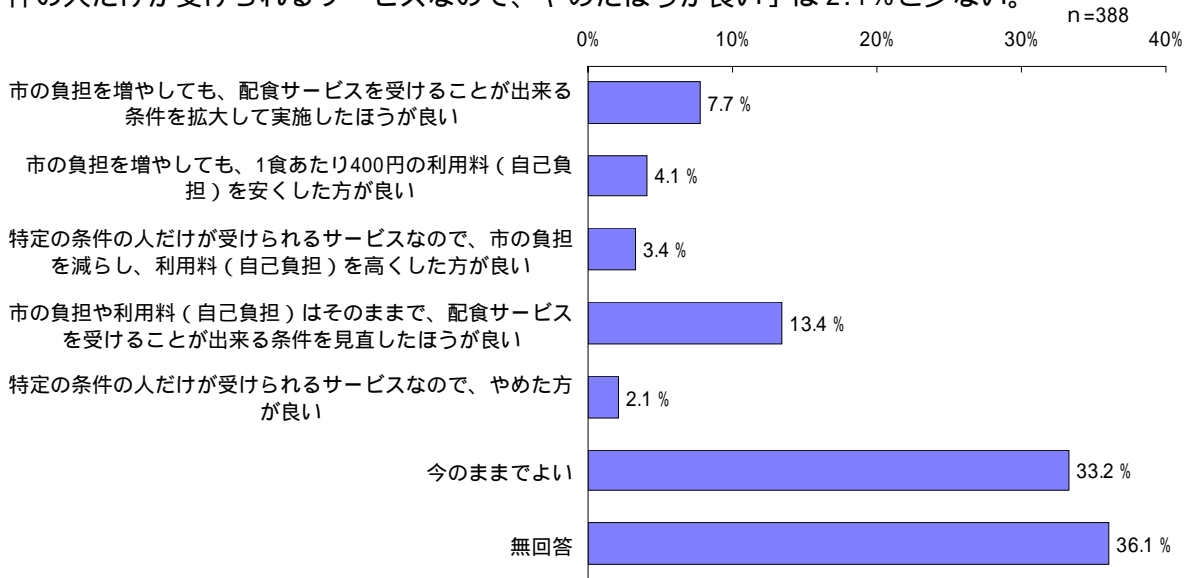
問24で「利用していない」と答えた人に、理由を聞いた。「自分や家族が調理をするから」60.4%、「サービスを知らなかったから」20.8%、「サービスの対象とならなかった」11.5%であり、「1食あたり 400 円の利用率(自己負担)が高いから」は3.1%にとどまる。



(5) 対象者と利用料

問 25 対象者と利用料（自己負担）について、あなたの考えは次のどれに近いですか。（1つに）

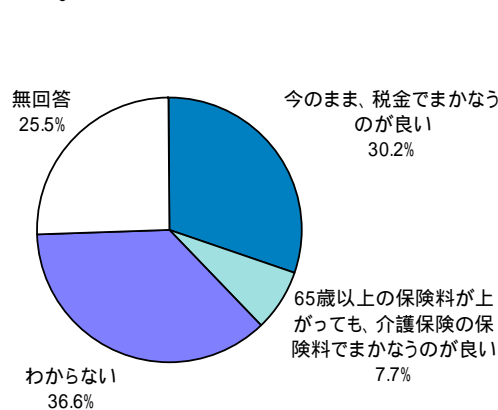
対象者と利用料(自己負担)についての考え方は、「無回答」36.1%、「今のままでよい」33.2%、6割以上が現状維持と考えられる。「市の負担や利用料(自己負担)はそのまま、配食サービスを受けることが出来る条件を見直したほうが良い」は13.4%、「市の負担を増やしても、配食サービスを受けることが出来る条件を拡大して実施したほうが良い」7.7%などである。「特定の条件の人だけが受けられるサービスなので、やめたほうが良い」は2.1%と少ない。



(6) 配食サービスの公費負担

問 26 配食サービスの公費負担について、あなたの考えは次のどれに近いですか。（1つに）

配食サービスの公費負担についての考え方は、「わからない」36.6%と「今のまま、税金でまかなうのが良い」30.2%に分かれる。「65歳以上の保険料が上がっても、介護保険の保険料でまかなうのが良い」は7.7%と少ない。

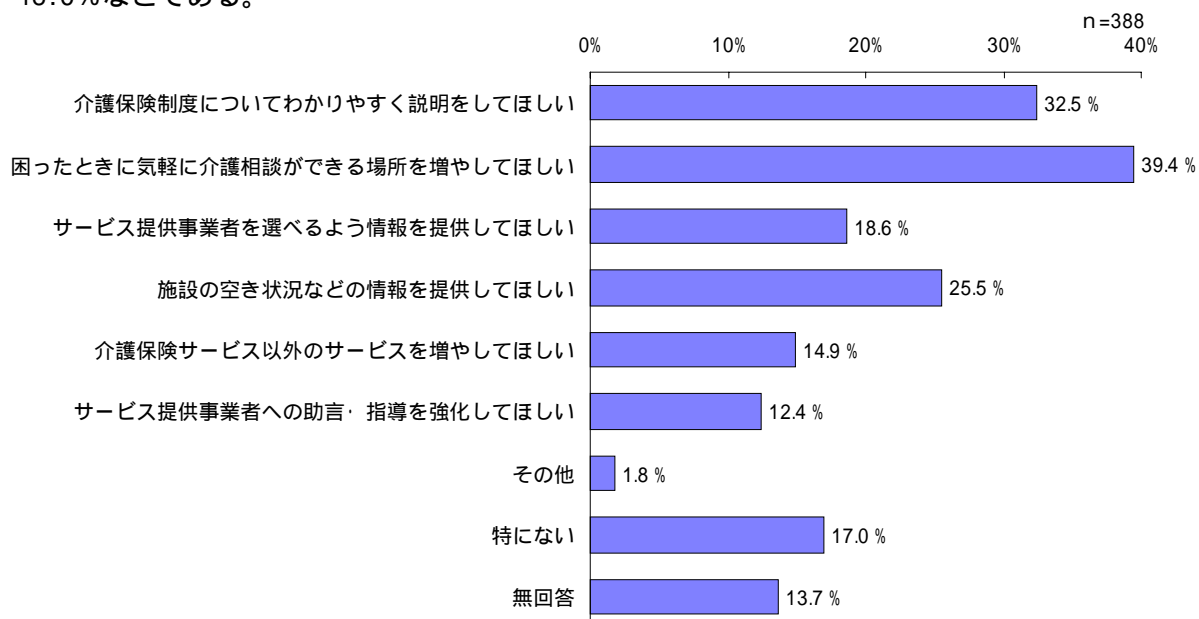


12. 市に期待すること

(1) 介護で市に期待すること

問 27 あなたが今後、介護に関して市に期待することは何ですか。(3つまでに)

介護で市に期待することは、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」39.4%が、「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」32.5%、「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」25.5%、「サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい」18.6%などである。



[要介護状態区分]

要支援1及び要支援2の上位は共通であり、ほとんど差はない。

単位：%

	回答者数 (人)	介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい	サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい	施設の空き状況などの情報を提供してほしい	介護保険サービス以外のサービスを増やしてほしい	サービス提供事業者への助言・指導を強化してほしい	その他	特にない	無回答
全体	388	32.5	39.4	18.6	25.5	14.9	12.4	1.8	17.0	13.7
状態区分 要支援1	110	29.1	39.1	16.4	27.3	11.8	10.9	3.6	16.4	19.1
要支援2	249	31.7	40.2	20.5	24.9	16.5	13.3	0.8	17.3	12.4

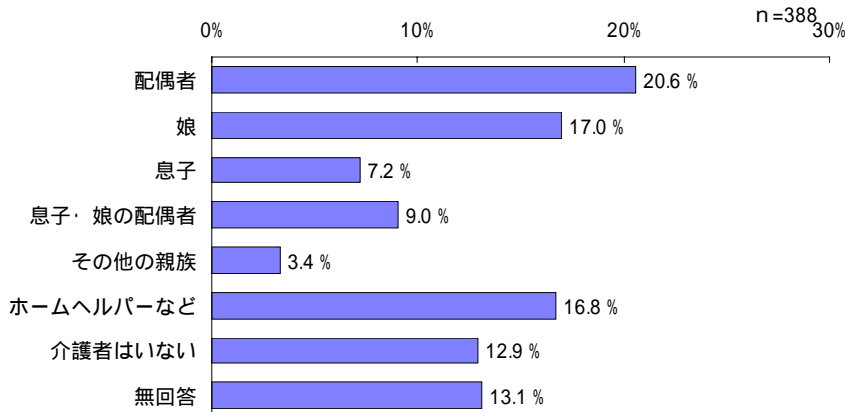
丸数字は順位

13. 主な介護者（お世話をする側）について

(1) 主な介護者

問 28 あなたの介護を主に行っている方はどなたですか。(1つに)

「配偶者」20.6%、「娘」17.0%、「ホームヘルパーなど」16.8%、「介護者はいない」12.9%が主なところである。



[要介護状態区分]

要支援1では、「配偶者」21.8%と「介護者はいない」20.0%が同程度である。「息子・娘の配偶者」は、要支援1は1.8%であるが、要支援2では12.9%となる。

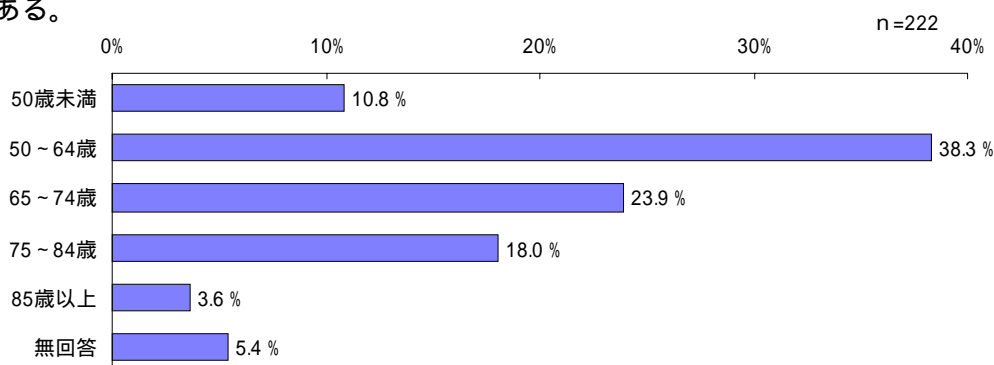
単位：%

	回答者数 (人)	配偶者	娘	息子	息子・娘の 配偶者	その他の 親族	ホームヘル パーなど	介護者はい ない	無回答	
全 体	388	20.6	17.0	7.2	9.0	3.4	16.8	12.9	13.1	
要 介 護 状 態 区 分	要支援1	110	21.8	15.5	6.4	1.8	3.6	15.5	20.0	15.5
	要支援2	249	19.7	17.7	6.4	12.9	3.2	17.7	10.8	11.6
	その他	16	31.3	12.5	18.8	0.0	0.0	18.8	6.3	12.5

(2) 介護者の年齢

問 29 主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに)

「50～64歳」が38.3%と最も多い。次いで「65～74歳」23.9%、「75～84歳」18.0%、「50歳未満」が10.8%、「85歳以上」3.6%である。65歳以上による、いわゆる老老介護は45.5%、5割弱である。



[性別]

男性は65～74歳の36.1%、女性は50～64歳の44.3%が最も多い。

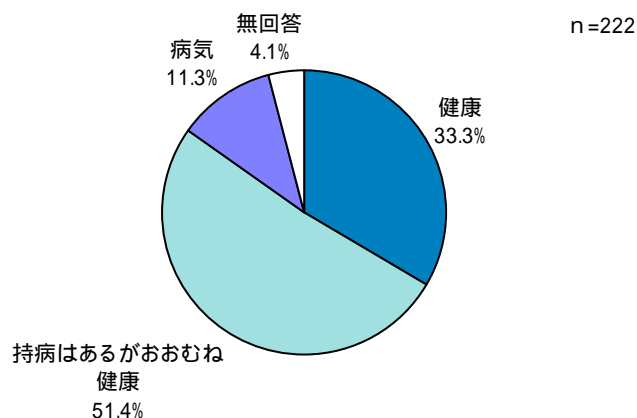
単位：%

		回答者数 (人)	50歳未満	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全 体		222	10.8	38.3	23.9	18.0	3.6	5.4
性 別	男性	61	4.9	24.6	36.1	27.9	3.3	3.3
	女性	149	12.1	44.3	18.8	14.8	4.0	6.0

(3) 介護者の健康状態

問 30 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(1つに)

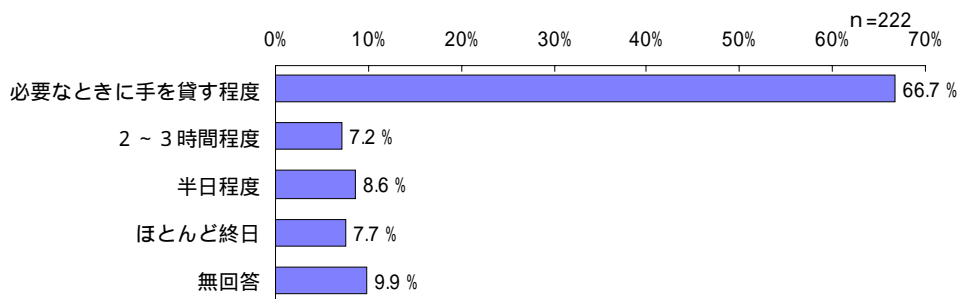
「持病はあるがおおむね健康」51.4%、「健康」33.3%を合わせた『健康』は84.7%と多い。



(4) 介護をしている時間

問31 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちのどのくらいですか。(1つに)

「必要なときに手を貸す程度」が66.7%と7割近い。以下、「半日程度」8.6%、「ほとんど終日」7.7%、「2～3時間程度」7.2%である。



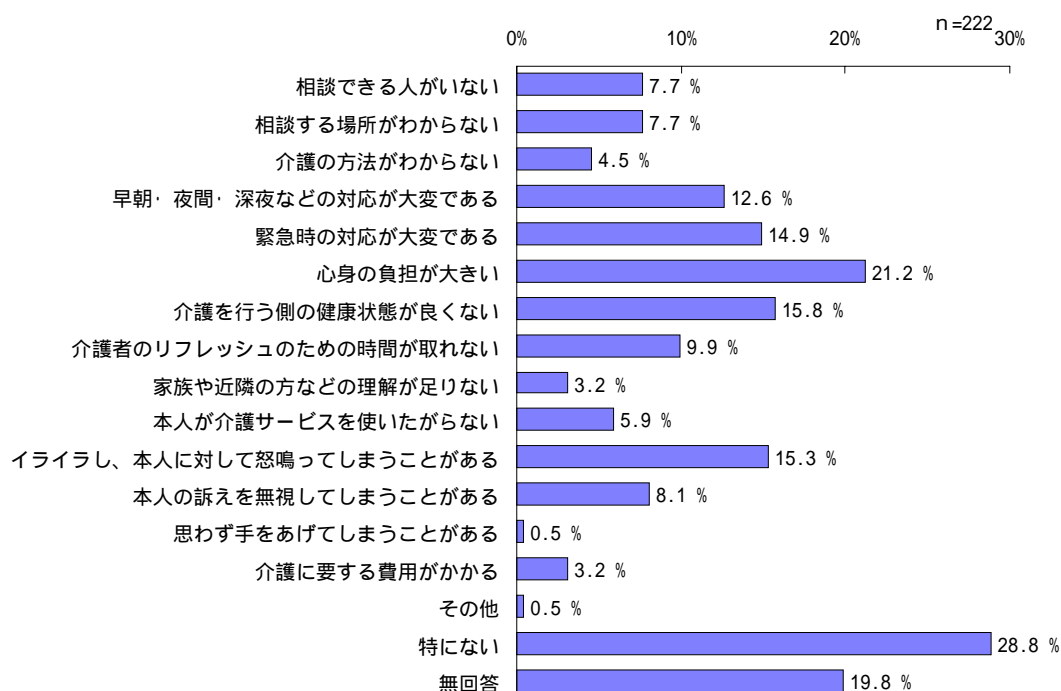
[要介護状態区分]

「必要なときに手を貸す程度」は、要支援1が83.3%、要支援2が61.7%である。要支援2は「2～3時間程度」8.7%、「半日程度」10.1%、「ほとんど終日」5.7%とあまり差がない。

(5) 介護上の困りごと等

問32 主に介護している方が、介護を行う上で、困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに)

「特にない」28.8%が最も多いが、「心身の負担が大きい」21.2%、「介護を行う側の健康状態が良くない」15.8%、「イライラし、本人に対して怒鳴ってしまうことがある」15.3%、「早朝・夜間・深夜などの対応が大変である」12.6%などである。



[要介護状態区分]

要支援1の上位は、「心身の負担が大きい」27.8%、「特にない」25.9%、「緊急時の対応が大変である」18.5%などである。これに対し、要支援2の上位は「特にない」30.2%、やや差があり「心身の負担が大きい」18.8%、「介護を行う側の健康状態が良くない」18.1%などである。

単位：%

	回答者数 (人)	相談できる 人がいない	相談する 場所が わからない	介護の 方法が わからない	早朝・夜間・ 深夜などの 対応が大変 である	緊急時の 対応が 大変である	心身の 負担が 大きい	介護を行う 側の健康状 態が良くない	介護者のリフ レッシュのた めの時間が 取れない	家族や近隣 の方などの 理解が足り ない	
全 体	222	7.7	7.7	4.5	12.6	14.9	21.2	15.8	9.9	3.2	
状 要 態 介 護 区 分	要支援1	54	9.3	9.3	5.6	13.0	18.5	27.8	11.1	7.4	1.9
	要支援2	149	8.1	7.4	3.4	11.4	13.4	18.8	18.1	10.1	2.7

	回答者数 (人)	本人が介護 サービスを使 いたがら ない	イライラし、 本人に対して 怒鳴って しまうこと がある	本人の訴え を無視して しまうこと がある	思わず手を あげてしま うことが ある	介護に要す る費用がか かる	その他	特にない	無回答	
全 体	222	5.9	15.3	8.1	0.5	3.2	0.5	28.8	19.8	
状 要 態 介 護 区 分	要支援1	54	5.6	13.0	7.4	0.0	0.0	1.9	25.9	27.8
	要支援2	149	6.0	15.4	8.7	0.7	4.7	0.0	30.2	16.1

丸数字は順位

(6) 家族介護で市に期待すること

問33 家族が介護を行う上で、市に期待することは何ですか。(3つまでに)

「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」43.2%が最も多い。次いで「家族介護の負担の軽減」29.7%、「介護に関するさまざまな情報の提供」27.0%、「医療との連携」26.1%「介護に要する費用負担の軽減」25.2%などである。

